

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																									
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																									
	3 目	教育指導奨励費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		( )																									
実施計画掲載ページ		P 20	中 事 業	教育指導奨励費																												
事業コード	002-001-002-00237	事 業 名	小中学校児童生徒体育及び文化活動補助金交付事業																													
目的及び事業内容	<p>小・中学校の文化活動及び体育活動の充実を図るとともに、県大会以上の大会へ出場する際の交通費の一部助成等により保護者負担を軽減する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金の交付（平成23年度から文化活動と体育活動を一体化）</li> </ul>																															
取組実績	<p>補助金の交付 音楽コンクール県大会以上に参加した小・中学校に対し、大会に参加する交通費の一部及び楽器輸送費を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県大会参加回数 11回（8校）</li> <li>・東北大会参加回数 2回（2校）</li> <li>・補助金交付額 1,090,835円</li> </ul> <p>体育活動県大会以上に参加した中学校に対し、大会に参加する交通費の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県大会参加回数 37回（17校）</li> <li>・東北大会参加回数 15回（9校）</li> <li>・全国大会参加回数 5回（5校）</li> <li>・補助金交付額 3,882,395円</li> </ul>																															
成 果	<p>音楽コンクールにおける県大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助対象校（補助件数）</td> <td>9校（13件）</td> <td>7校（11件）</td> <td>8校（13件）</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>576,860円</td> <td>812,351円</td> <td>1,090,835円</td> </tr> </tbody> </table> <p>体育活動における県大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助対象校（補助件数）</td> <td>17校（62件）</td> <td>17校（51件）</td> <td>17校（57件）</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>2,874,161円</td> <td>2,198,245円</td> <td>3,882,395円</td> </tr> </tbody> </table>								主な指標項目	H24	H25	H26	補助対象校（補助件数）	9校（13件）	7校（11件）	8校（13件）	補助金交付額	576,860円	812,351円	1,090,835円	主な指標項目	H24	H25	H26	補助対象校（補助件数）	17校（62件）	17校（51件）	17校（57件）	補助金交付額	2,874,161円	2,198,245円	3,882,395円
主な指標項目	H24	H25	H26																													
補助対象校（補助件数）	9校（13件）	7校（11件）	8校（13件）																													
補助金交付額	576,860円	812,351円	1,090,835円																													
主な指標項目	H24	H25	H26																													
補助対象校（補助件数）	17校（62件）	17校（51件）	17校（57件）																													
補助金交付額	2,874,161円	2,198,245円	3,882,395円																													
成果に係る評価	<p>各種大会参加校への補助金交付により、文化活動及び体育活動の充実が図られた。平成26年度より貸切バス運賃制度が見直され、バス借上げ料が値上がりになることから、補助件数に対し補助金交付額の増加が見込まれるため、保護者の負担軽減の観点から、継続して実施する必要がある。</p>																															
（単位：円）																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																										
	6,259,000	4,973,230				4,973,230																										

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																	
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																	
	3 目	教育指導奨励費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		( )																	
実施計画掲載ページ		P 22	中 事 業	奨学金資金費																				
事業コード	002-001-003-00230	事 業 名	奨学金貸与事業																					
目的及び事業内容	<p>石巻市奨学金貸与条例に基づき、経済的理由により修学困難な生徒及び学生に学費を貸与し、有能な人材の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奨学金の貸与・償還</li> </ul>																							
取組実績	<p>1 奨学金の貸与</p> <p>(1) 奨学生の新規募集を行い、奨学生選考委員会で12名の新規貸与者を決定した。平成26年度以前に採用された既採用者のうち留年のため1名が停止、1名が辞退となっている。</p> <p>(2) 貸与区分（月額）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">高校在学</td> <td rowspan="2">15,000円</td> <td>高専在学 第3学年まで</td> <td>15,000円</td> </tr> <tr> <td>第4学年以上</td> <td>35,000円</td> </tr> <tr> <td>大学在学</td> <td>35,000円</td> <td>専修学校在学（専門課程）</td> <td>35,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 貸与者数 47名 (4) 貸与金額 16,620,000円</p>								区 分	貸与月額	区 分	貸与月額	高校在学	15,000円	高専在学 第3学年まで	15,000円	第4学年以上	35,000円	大学在学	35,000円	専修学校在学（専門課程）	35,000円		
区 分	貸与月額	区 分	貸与月額																					
高校在学	15,000円	高専在学 第3学年まで	15,000円																					
		第4学年以上	35,000円																					
大学在学	35,000円	専修学校在学（専門課程）	35,000円																					
成 果	<p>有能にも関わらず経済的理由で修学困難な生徒及び学生に教育の機会を与えた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>奨学金貸与者数（うち新規貸与者数）</td> <td>82名（16名）</td> <td>71名（20名）</td> <td>47名（12名）</td> </tr> <tr> <td>貸与金額</td> <td>30,030,000円</td> <td>26,700,000円</td> <td>16,620,000円</td> </tr> <tr> <td>滞納額</td> <td>44,123,200円</td> <td>49,155,900円</td> <td>50,276,800円</td> </tr> </tbody> </table>								主な指標項目	H24	H25	H26	奨学金貸与者数（うち新規貸与者数）	82名（16名）	71名（20名）	47名（12名）	貸与金額	30,030,000円	26,700,000円	16,620,000円	滞納額	44,123,200円	49,155,900円	50,276,800円
主な指標項目	H24	H25	H26																					
奨学金貸与者数（うち新規貸与者数）	82名（16名）	71名（20名）	47名（12名）																					
貸与金額	30,030,000円	26,700,000円	16,620,000円																					
滞納額	44,123,200円	49,155,900円	50,276,800円																					
成果に係る評価	<p>新規採用奨学生の減少は、他の奨学金制度を利用する生徒が増えたためと考えられる。市報、ホームページへの掲載、管内学校への通知など従来の周知方法に加え、利用者を増やすための施策を実施していくこととする。（平成27年度から大学、専修学校在学生への貸与額を月額35,000円から45,000円に変更） 償還については、滞納額の増加に対し、相手の状況に配慮しながら効果的な滞納対策に努める。</p>																							
（単位：円）																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																		
	29,620,000	16,860,762				16,860,762																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																					
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																					
	3 目	教育指導奨励費		( 2 )	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																					
実施計画掲載ページ		P 19	中 事 業	いじめ・生徒指導問題対策費																								
事業コード		002-001-002-00235	事 業 名	いじめ・生徒指導問題対策事業																								
目的及び事業内容		<p>いじめや不登校、その他の生徒指導に関する問題に組織的に対応するため、関係機関等との連携を推進するほか、教員や保護者対象の研修を通して「いじめを許さない風土づくり」を進め、いじめの未然防止及び早期解決を図る。</p> <p>1 いじめ問題対策連絡協議会、生徒指導問題対策協議会の実施  2 いじめの防止や生徒指導上の諸問題の解決にかかる研修会の実施  3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布  4 「Stopいじめ！石巻市子どもサミット」の実施</p>																										
取組実績		<p>1 いじめ問題対策連絡協議会、生徒指導問題対策協議会  市内の生徒指導、いじめの諸問題について、各3回の情報交換を行ったほか、有効な連携の在り方について協議した。</p> <p>2 いじめの防止や生徒指導上の諸問題の解決にかかる研修会の実施  (1) 生徒指導上の喫緊の課題であるネットトラブルの問題に対応するため、市内教職員・保護者を対象に講演会を実施した。  (2) いじめ問題の根幹にかかわる人権について、市内教職員・保護者を対象に大学教授を招いた講演会を開催した。</p> <p>3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布  いじめ防止標語（小・中・高）、いじめ防止メッセージ（中・高）を募集し、メッセージ集を作成して各学校や関係機関に配布し、意識啓発に努めた。</p> <p>4 「Stopいじめ！石巻市子どもサミット」は、市内全中学校の代表が参加し、いじめの防止について話し合いを行った。</p> <p>5 いじめの重大事案に対応するため、石巻市いじめ問題対策調査委員会を設置し、委員の委嘱・情報交換等を行った。</p>																										
成 果		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>いじめの件数</th> <th>解消件数</th> <th>解消率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小 学 校</td> <td>23件</td> <td>22件</td> <td>95.7%</td> </tr> <tr> <td>中 学 校</td> <td>33件</td> <td>31件</td> <td>93.9%</td> </tr> <tr> <td>高 校</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>57件</td> <td>54件</td> <td>94.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記は文部科学省実施の平成26年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査による。</p>							区 分	いじめの件数	解消件数	解消率	小 学 校	23件	22件	95.7%	中 学 校	33件	31件	93.9%	高 校	1件	1件	100%	計	57件	54件	94.7%
区 分	いじめの件数	解消件数	解消率																									
小 学 校	23件	22件	95.7%																									
中 学 校	33件	31件	93.9%																									
高 校	1件	1件	100%																									
計	57件	54件	94.7%																									
成果に係る評価		<p>いじめの解消率は90%を超えており、各学校において早期発見、早期解決に向けて取り組んだ成果が表れているとらえている。今後とも未然防止に向けての取組が必要である。いじめの件数を減らすことはもちろんのこと、起きたときの対応として、学校をあげてその解決、解消に努めることが大切である。また、ネットトラブル等、目に見えにくい問題も懸念される。日ごろの道徳の時間の指導をベースに、道徳教育の充実にも全力で取り組むよう各学校に働き掛ける。また、これまで以上に教員のもつアンテナを高くしながら、子どもたちの様子等を把握していく必要がある。</p>																										
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	3,177,000	467,487				467,487																						

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )											
	1 項	教育総務費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		( )											
	3 目	教育指導奨励費		( 1 )	広い視野を持つ人材をはぐくむ		( )											
実施計画掲載ページ		P 30	中 事 業	外国青年英語指導費														
事業コード		002-003-001-00225	事 業 名	国際理解教育推進事業														
目的及び事業内容		<p>幼稚園、小中学校及び高等学校におけるALT（外国語指導助手）を活用しての授業や交流を通して外国語教育と国際理解教育の充実を図る。</p> <p>1 市立中学校・高等学校における外国語教育の充実  2 市立小学校における外国語活動の充実  3 市立幼稚園・けやき教室における国際理解教育の推進</p>																
取組実績		<p>1 市立中学校・高等学校  ALT10名を配置し、週1～3回程度の配置で、1日当たり5時間程度の授業を行った。また、JETプログラムのALTについては、部活動等課外活動にも意欲的に取り組み、授業以外の場でも生徒と積極的に接した。</p> <p>2 市立小学校  5・6年生で行われている外国語活動の授業に合わせて週1回程度配置し、担任教師と連携しながら、児童が楽しみながらコミュニケーション能力の素地を養えるよう活動を行った。</p> <p>3 市立幼稚園・けやき教室  月1回程度の配置で、英語を使った活動等を行い、国際理解教育の充実を図った。</p> <p>※JETプログラム…「語学指導を行う外国青年招致事業」の略称  外国語教育の充実と地域レベルの国際交流の進展を図り、総務省、外務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）の協力の下に実施。</p>																
成 果		<p>ALTを中学校、高等学校を中心に小学校・幼稚園・けやき教室に配置し、外国語活動や外国語教育、国際理解教育を推進することができた。また、引き続き概ね高い水準で授業を「楽しい」と感じる生徒の割合を維持できており、外国語学習に対するモチベーションを高めることに大いに貢献している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ALTとの授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学1・2年生）</td> <td>85.0%</td> <td>79.0%</td> <td>80.4%</td> <td>79.9%</td> </tr> </tbody> </table>							主な指標項目	H23	H24	H25	H26	ALTとの授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学1・2年生）	85.0%	79.0%	80.4%	79.9%
主な指標項目	H23	H24	H25	H26														
ALTとの授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学1・2年生）	85.0%	79.0%	80.4%	79.9%														
成果に係る評価		<p>平成23度から小学校で外国語活動が完全実施され、ALTと担任が協力して外国語活動の授業の充実にも努めている。小学校においては、ALTとの授業が楽しいと感じる児童の割合は91.6%である。中学校においても、1年生については84.1%と、80%を超えているが、学力差が顕著になってくる2年生においては75.6%であり、英語という教科そのものに対する苦手意識が数値に表れ、他の学年に比べ少し低い値になっている。学校によっても差が見られるので、ALTの指導力を含め今後の改善について考えたい。また、小学校の英語の教科化と3学年からの外国語活動実施を見据え、段階的にALTの人数を増やしていきたい。</p>																
(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	45,762,000	45,657,683				45,657,683												

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	3 目	教育指導奨励費		( 2 )	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )	
実施計画掲載ページ		P 19	中 事 業	子どもの未来づくり事業費				
事業コード		002-001-002-00232	事 業 名	石巻・子どもの未来づくり事業				
目的及び事業内容		<p>石巻市立小・中学校長会と連携し、児童生徒の学力の定着と向上をとおし、未来を生きる力の育成を図る。</p> <p>1 子どもの未来づくり推進委員会の設置 「教師の指導力の向上」、「児童生徒の学習習慣の形成」、「志を高める取組を小中連携により充実」の具体的方策について検討し、事業を行う。</p> <p>2 小・中学校校長会との連携 支会校長会ごとに本事業の目的達成のための計画を立て実践する。</p> <p>3 子どもの未来づくり推進地区連絡協議会の設置 各地区の取り組み内容について情報交換し、より効果的な方策を検討する。</p>						
取組実績		<p>1 子どもの未来づくり推進委員会の設置取組</p> <p>(1) 学力調査結果の分析等に基づき、学校と家庭との連携や家庭学習習慣形成の在り方等について検討し、中学校区ごとに家庭学習の進め方について、リーフレットを作成し働きかけた。</p> <p>(2) 子どもの未来づくりフォーラムを2回実施し、児童生徒、保護者、教員がともに話し合い、意識を高めた。</p> <p>(3) 家庭学習・生活習慣リーフレットの内容及び活用状況を検証し、内容を改善していくことを確認した。</p> <p>(4) 子どもの未来づくり推進地区・実践校の取組状況や成果をまとめ、「事業報告書、実践事例集」にまとめ、活用を図った。</p> <p>(5) 志を強くもって生き抜くための具体的な実践として、小中学校が連携して弁論大会や体験活動の交流会等を実施した。</p> <p>2 小・中学校との連携及び子どもの未来づくり推進地区の取組</p> <p>(1) 学力向上のため、学校と家庭との連携や家庭学習習慣形成等の実践研究を実施した。</p> <p>(2) 地区内での情報共有や共同実践について話し合い、講演会や研修会を実施した。</p> <p>(3) 実践成果発表会において、各地区の取組について発表し、情報を共有した。</p>						
成 果		<p>1 小学校と中学校が合同で研修会や授業研究会を実施し、小・中連携の推進が図られた。</p> <p>2 事業実施手法等の工夫により、より専門性の高い講師による研修会を実施する地区が増え、研修の充実を図ることができた。</p> <p>3 各推進地区で作成した家庭学習カードの工夫、活用を通して、学校と家庭が連携する必要性について啓発が図られた。</p> <p>4 被災によって連携事業が困難となった学校があったが、それぞれ工夫して校区にとらわれない連携を行った。</p>						
成果に係る評価		<p>各地区の事業報告から推察すると、小・中連携の推進について各地区での取組は一定の成果があると思われる。ただ、家庭学習習慣の形成については、「家庭学習の手引き」や家庭学習カードの有効活用など、家庭との連携についてさらに工夫しながら取り組みを継続していく必要がある。また、教員の指導力向上については、全市的に取組めるような研修会等を教育委員会が主体となって実施していく。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	3,603,000	2,582,371				2,582,371		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																	
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																	
	3 目	教育指導奨励費		( 2 )	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																	
実施計画掲載ページ		P 18	中 事 業	適応指導教室運営費																				
事業コード		002-001-002-00227	事 業 名	適応指導教室運営事業																				
目的及び事業内容		<p>不登校児童生徒個々の実態等に応じた生徒指導、学習指導、適応指導を行い、自立を促しながら学校への復帰を図る。</p> <p>1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携</p> <p>2 児童生徒の実態等に応じた学習指導</p> <p>3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実</p>																						
取組実績		<p>1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携 通所児童生徒や保護者との定期的教育相談や懇談会を行ったほか、機会を捉えての相談等も行って悩み等に受容的に対応した。</p> <p>2 児童生徒の実態等に応じた学習指導 (1) 通所児童生徒一人ひとりの実態や学年を踏まえ、個に応じた指導・支援を行った。 (2) 在籍校との連携を深め、学級担任との連絡を密に行ったほか、適応指導教室での定期考査受験や学校で使用しているプリントでの学習などにより、帰属感の育成が図られた。</p> <p>3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実 絵手紙教室、英会話教室、書道教室、調理実習、スポーツ教室、清掃活動等の体験活動を通して、仲間とともに活動する楽しさや一体感の醸成が図られた。</p>																						
成 果		<p>教育相談活動や学習活動、体験活動の充実、保護者や学校との連携強化により、児童生徒の再登校への意欲を高め、一定の成果が図られた。 しかし、適応指導教室通所児童生徒の状況は個々によって多様であり、再登校を始めても、戻って来てもうこともあり、復帰への道りは容易ではない。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数</td> <td>93件</td> <td>108件</td> <td>103件</td> </tr> <tr> <td>通所児童生徒の再登校率</td> <td>25.0%</td> <td>20.0%</td> <td>42.8%</td> </tr> <tr> <td>通所児童生徒の部分登校率 (再登校者を含む)</td> <td>62.5%</td> <td>40.0%</td> <td>71.4%</td> </tr> </tbody> </table>							主な指標項目	H24	H25	H26	不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数	93件	108件	103件	通所児童生徒の再登校率	25.0%	20.0%	42.8%	通所児童生徒の部分登校率 (再登校者を含む)	62.5%	40.0%	71.4%
主な指標項目	H24	H25	H26																					
不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数	93件	108件	103件																					
通所児童生徒の再登校率	25.0%	20.0%	42.8%																					
通所児童生徒の部分登校率 (再登校者を含む)	62.5%	40.0%	71.4%																					
成果に係る評価		<p>平成26年度の不登校児童生徒は小・中合わせて161人であり、昨年度と比較すると減少しているが、相変わらず多い状況が続いている。各々の学校で改善の努力はしているが、指導が困難な事例も多く、不登校児童生徒の大幅な減少には至っていないことから、専門的な対策チームを構成して本人や家庭に積極的に働きかける必要がある。</p> <p>適応指導教室を基盤とし、少年センター相談員、不登校対応相談員、スクールソーシャルワーカー、青少年育成員、校長会担当者、民生委員・児童委員協議会委員らをメンバーとする市立小・中学校不登校児童生徒対応協議会が中心となって、その対策に当たっていくとともに、未然防止策及び対応策の確立を目指していくことが必要である。</p>																						
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	4,990,000	4,567,537			33,000	4,534,537																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )	
実施計画掲載ページ		P 19		中 事 業	特別支援教育事業費			
事業コード		002-001-002-00228		事 業 名	特別支援教育支援員配置事業			
目的及び事業内容		<p>通常の学級に在籍している発達障害がある児童生徒の日常生活支援及び学習指導補助を行うため、学校に支援員を配置する。</p> <p>1 小中学校への支援員の配置 2 当該児童生徒への支援の工夫</p>						
取組実績		<p>1 支援員の配置状況 市内小・中学校 31校に配置 石巻小、住吉小、門脇小、湊小、釜小、山下小、蛇田小、渡波小、稲井小、向陽小、貞山小、開北小、万石浦小、大街道小、中里小、鹿妻小、飯野川第一小、大谷地小、広瀬小、須江小、北村小、前谷地小、和瀬小、鹿又小、桃生小、中津山第一小、中津山第二小、北上小、大原小、蛇田中、河南西中</p> <p>2 通常の学級における当該児童生徒への支援 通常の学級に在籍する、知的障害、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、高機能自閉症、選択的緘黙等の子どもたちへの学習・生活支援をするなどし、担任教員の指導補助を行った。各学校では、学級や個人への支援のあり方について研修するなどして、支援員の活用を工夫した。</p> <p>3 特別支援教育支援員研修会の実施 支援員を対象に、宮城県立石巻支援学校 校長 相澤一夫氏を講師として招聘し、「特別支援教育支援員の役割と具体的な支援」の演題で研修会を開催した。また、分科会に分かれて、日常支援の様子等について情報交換をした。</p>						
成 果		<p>特別な支援を必要とする子どもの実態に応じた学習・生活指導についての充実が図られた。また、支援対象児童生徒の保護者や担任等から、「支援が充実したことで子どもが安心して学習にとりくめるようになった。周囲の子どもたちにとっても良い影響をもたらしている。大変感謝している。」という声が多く寄せられている。</p> <p>また、研修会を実施したことで、支援員としてのスキルの向上を図るとともに、各学校に配置された支援員との情報交換をすることができ、支援員にとっては有意義なものであった。</p>						
成果に係る評価		<p>特別支援教育は、インクルーシブ教育の推進に伴い、これまで以上に、通常の学級における特別な支援の充実が求められている。特別支援教育支援員の存在は、障害がある児童生徒が通常の学級で少しの支援を受けることで、共に学ぶ機会を作ることへ、大きく貢献している。共に学ぶことで、対象児童生徒本人の社会性の向上を図れるだけでなく、周囲の児童生徒にとっても障害の理解、自己理解・他者理解へつながっている。学校や保護者からは、事業拡充を望む声が非常に大きく、今後、支援員の配置人数の拡充に努めていく。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	53,115,000		48,766,759		2,330,000			46,436,759

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																
	1 項	教育総務費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																
	3 目	教育指導奨励費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																
実施計画掲載ページ		P 20		中 事 業	定住外国人就学支援事業費																		
事業コード		002-001-002-00238		事 業 名	定住外国人就学支援事業																		
目的及び事業内容		<p>石巻市に転入し、就学を希望する外国籍の児童生徒を円滑に市立小中学校に受け入れるため、外国語を話すことができる就学支援員を必要とする学校に配置し、当該児童生徒の通訳及び言語習得や学校生活等のサポートをする。</p>																					
取組実績		<p>支援を要する外国籍の児童生徒に対し、意志疎通が図れる外国人支援員（パート職員）を配置し、学校での通訳や簡単な日本語指導により、当該児童生徒の学習及び日常生活の支援を行った。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）</td> <td>7人（7校）</td> <td>7人（7校）</td> <td>8人（8校）</td> <td>4人（4校）</td> </tr> <tr> <td>配置した支援員数</td> <td>7人</td> <td>8人</td> <td>7人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table> <p>主な支援母国語は、スペイン語、タガログ語、英語などである。</p>							主な指標項目	H23	H24	H25	H26	支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）	7人（7校）	7人（7校）	8人（8校）	4人（4校）	配置した支援員数	7人	8人	7人	4人
主な指標項目	H23	H24	H25	H26																			
支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）	7人（7校）	7人（7校）	8人（8校）	4人（4校）																			
配置した支援員数	7人	8人	7人	4人																			
成 果		<p>平成26年度は、市立小・中学校4校の4人の児童生徒に対し、支援員4人を配置して学校生活におけるコミュニケーションの手伝いや簡単な日本語指導を行い、当該児童生徒及びその家族の不安を取り除くことができた。また、併せて当該学校や担当教師の支援の役割も担った。上記児童生徒が日本での生活に慣れ、支援員を必要としなくなったため26年度の配置数は減少したが、新たに配置希望をするケースもあるので、支援員の安定した確保が必要である。</p>																					
成果に係る評価		<p>支援員の配置を必要とする小・中学校に対して、概ね支援員を配置し支援をすることができた。しかし、言語の種類によっては、支援員が通勤可能な地域に見つからず、配置まで時間がかかったケースがある。</p> <p>また、学校における問題とは別に様々な家庭事情によって突然母国に帰国するケースもあり、支援員の待遇が難しい状況がある。</p> <p>昨年度は、対象児童・生徒が日本での生活に慣れたことから、配置希望数が減少した。しかし、石巻市の定住外国人の数は増加傾向にあり、新たに転入した児童・生徒への支援員配置希望があることから、今後も継続して事業を実施する必要がある。</p>																					
(単位：円)																							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																		
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
	1,500,000		1,314,950					1,314,950															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( )	
	1 項	教育総務費		第 節			( )	
	7 目	東日本大震災関係費		( )			( )	
実施計画掲載ページ			中 事 業	学び支援コーディネーター等配置事業費				
事業コード			事 業 名	学び支援コーディネーター等配置事業				
目的及び事業内容		<p>東日本大震災により、地域コミュニティの崩壊や仮設住宅居住など住環境が変化し、教育環境、特に家庭学習の習慣形成が困難な状態になったため、学び支援コーディネーター等の配置を行い、児童生徒に基礎基本を確実に定着させ、学力の全体的な底上げを図るもの。</p> <p>1 地域に必要な学習の場をコーディネートする「学び支援コーディネーター」の配置  2 児童生徒の学習支援や保護者の学習相談等に携わる「学び相談員」の配置  3 児童生徒の学習支援に携わる「学び支援員」の配置  4 長期休業中と平日の放課後の学習支援のために学習の場・機会の提供</p>						
取 組 実 績		<p>1 「夏休み学び教室」の開催 【会場：宮城県石巻工業高等学校】  (1) 開催日時 平成26年8月6日～8日 18～19日 小学生：9:30～12:00 中学生：13:00～15:30  (2) 参加対象 保護者が参加を承諾した石巻市立小中学校に在籍する児童生徒 小学3年生～中学3年生  (3) 内 容 ・自分で教材を持参し、課題を決めて自主学習を行った。  ・学び支援員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。  ・児童生徒、保護者の希望者に学習相談を行った。</p> <p>2 「放課後学び教室」の開催 【会場：市内各小中学校の教室等】  (1) 開催日時 平成26年5月下旬～平成27年2月末 15:00～17:00  ※学校の実情に応じて計画を立てて学習支援を実施した。  (2) 参加対象 保護者が参加を承諾した石巻市立小中学校に在籍する児童生徒 小学3年生～中学3年生  (3) 内 容 ・自分で教材を持参し、課題を決めて自主学習を行った。  ・学び相談員等が適宜、指導や助言等の学習支援を行った。</p>						
成 果		<p>○仮設住宅等で家庭学習が思うようにできないという児童生徒や保護者の思いに応えることができた。  &lt;夏休み学び教室&gt; 実施回数：10回（小学生 5回、中学生 5回）  参加者数：609名（小学生 401名、中学生 208名）  &lt;放課後学び教室&gt; 実施回数：1,036回（小学生 740回、中学生 296回）  参加者数：20,334名（小学生 16,767名、中学生 3,567名）</p> <p>○夏休み学び教室では、参加児童生徒の多くから「家庭で勉強するよりも集中して取り組み、宿題を終らせることができるともよかった」という声を聞くことができた。  また、大学生の学び支援員が多く参加したことで、児童生徒も質問など進んで行いながら、意欲的に学習している姿が見られた。  ○家庭学習が十分にできなかった児童生徒も、放課後学び教室に参加することで学習習慣が身に付き、学習への自信と意欲を持つようになってきている。  ○学び相談員が、一人一人を褒めて温かく学習を見守り、児童生徒が困難な時には適切に対応したことで、児童生徒の自己肯定感を高めた。</p>						
成果に係る評価		<p>3年目の事業としては目的が達成でき、大きな成果があったが、次の2点については改善の必要がある。</p> <p>1 学び相談員・支援員が不足しており十分に配置できなかったため、開催を希望しているにも関わらず、配置できない学校が2校あった。また、配置が1名の学校は、学び相談員・支援員の都合により開催できない日もあった。人材確保の工夫、人材配置のやりくりが必要である。</p> <p>2 夏休み学び教室に参加するには保護者の送迎に頼らざるを得ず、旧市外の児童生徒や仮設住宅等に居住している児童生徒が気軽に参加できる体制が整っていない。平成26年度は1地区で小中合同の夏休み学び教室を開催したが、今後は、より参加しやすい環境整備のため開催地区を増やしていくことが必要である。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	7,362,000		6,648,602		6,648,602			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																				
	1 項	教育総務費		第 節			( 1 )	未来の人を育てる																				
	7 目	東日本大震災関係費		( )			( 3 )	子どものケアの実施																				
実施計画掲載ページ			P 198	中 事 業	スクールカウンセラー配置事業費																							
事業コード		004-103-002-00525	事 業 名	スクールカウンセラー配置事業〔復興基金〕																								
目的及び事業内容		<p>カウンセラーの相談活動により、児童生徒・保護者・教職員の心理面における安定を図るとともに、児童生徒の健全育成に資する。</p> <p>1 スクールカウンセラーの配置  2 生徒・保護者・教職員・学区内小学生等の要望に応じたカウンセリングの実施  3 カウンセラーを活用してのカウンセリング研修等の実施</p>																										
取 組 実 績		<p>1 スクールカウンセラーの配置  中学校全20校に配置（中学校カウンセラー及び広域スクールカウンセラー）  希望した小学校32校に配置（広域スクールカウンセラー）  2 カウンセラーの配置状況  (1) 中学校 年間19～38回、小学校 年間5～38回  (2) 1回あたりの時間（県で決定） 6～8時間  3 カウンセリング研修等の実施  各学校で研修日を設定して実施  （内容）カウンセリング実技研修、エンカウンター実習など</p>																										
成 果		<p>中学校はもとより多くの小学校にもスクールカウンセラーが配置されており、スクールカウンセラーに相談できる体制が整備されつつある。それが相談件数の増加につながっており、震災後の心のケアも含め、学校や家族の問題等の解決の一助としての役割を担っている。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>5,420件</td> <td>5,241件</td> <td>5,700件</td> </tr> <tr> <td>相談人数</td> <td>5,984人</td> <td>5,857人</td> <td>6,817人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">H26相談人数割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童生徒</td> <td>34.1%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>34.1%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>31.8%</td> </tr> </tbody> </table>							主な指標項目	H24	H25	H26	相談件数	5,420件	5,241件	5,700件	相談人数	5,984人	5,857人	6,817人	H26相談人数割合		児童生徒	34.1%	教職員	34.1%	保護者	31.8%
主な指標項目	H24	H25	H26																									
相談件数	5,420件	5,241件	5,700件																									
相談人数	5,984人	5,857人	6,817人																									
H26相談人数割合																												
児童生徒	34.1%																											
教職員	34.1%																											
保護者	31.8%																											
成果に係る評価		<p>児童生徒に対する心理面における専門的指導の重要性を考慮して、多くの学校に配置できたことが成果につながっていると考えられる。相談の件数、人数とも増加している。配置校の児童・生徒・保護者・教職員からの相談に対応し、配置校内で教職員向けの研修会等も実施し、積極的な生徒指導につながっていると考えられる。今後も継続的な配置が必要である。また、震災後の心のケアの面からも、長期的にカウンセラーによる相談体制の充実と連携を図っていくことが重要である。</p>																										
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	547,600		264,082				264,082																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																																
	1 項	教育総務費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる																																																
	7 目	東日本大震災関係費		( )		( 3 )	子どものケアの実施																																																
実施計画掲載ページ	P198		中 事 業	スクールソーシャルワーカー配置事業費																																																			
事業コード	004-103-002-00525		事 業 名	スクールソーシャルワーカー配置事業																																																			
目的及び事業内容	<p>小中学校における相談体制や関係機関との連携体制の充実を図り、不登校対応を中心に、暴力行為、児童虐待などの問題行動の早期対応や早期解決を図る。</p> <p>1 問題を抱える児童生徒が置かれた環境（家庭や学校等）に対して面談などの働きかけを行う</p> <p>2 児童相談所などの関係諸機関とのネットワークを構築し、連携や調整に努める</p> <p>3 市内小中学校において、校内で支援体制やチーム体制を整備することを支援する</p> <p>4 市内小中学校の教職員・保護者への相談や、研修会等での啓発活動・情報提供に努める</p>																																																						
取組実績	<p>スクールソーシャルワーカーについて</p> <p>1 スクールソーシャルワーカーは5名が配置されており、児童生徒や家庭の状況を踏まえ、ケースごとに児童相談所や市民相談センターなどの関係機関と連携して対応している。</p> <p>また、震災後の児童生徒のケアについても、学校に配置されているスクールカウンセラーと連携することはもとより、児童精神科医とも連携しており、専門的な見地から適切な対応がなされるよう働きかけている。</p> <p>○配置状況(平成27年3月末現在) 5名配置</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>拠点校</th> <th>勤務時間、日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>門脇小、大川小、石巻市教育委員会</td> <td>1日 6時間、週3日</td> </tr> <tr> <td>向陽小、青葉中</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>稲井中、渡波中</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>石巻市教育委員会</td> <td>1日 6時間、週1日</td> </tr> <tr> <td>万石浦中、桃生中</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 訪問活動：勤務総日数延べ467日（家庭訪問延べ186件、学校訪問940件）</p> <p>連携した機関：児童相談所、健康推進課、市民相談センター（虐待防止センター）、精神科医、警察署等</p>							拠点校	勤務時間、日数	門脇小、大川小、石巻市教育委員会	1日 6時間、週3日	向陽小、青葉中	1日 6時間、週2日	稲井中、渡波中	1日 6時間、週2日	石巻市教育委員会	1日 6時間、週1日	万石浦中、桃生中	1日 6時間、週2日																																				
拠点校	勤務時間、日数																																																						
門脇小、大川小、石巻市教育委員会	1日 6時間、週3日																																																						
向陽小、青葉中	1日 6時間、週2日																																																						
稲井中、渡波中	1日 6時間、週2日																																																						
石巻市教育委員会	1日 6時間、週1日																																																						
万石浦中、桃生中	1日 6時間、週2日																																																						
成 果	<p>1 スクールソーシャルワーカーの仕事内容が学校及び関係機関に理解され、連携がスムーズになった。</p> <p>2 問題を抱える児童生徒の家庭訪問等を行い、少しずつ登校できるようになった。</p> <p>3 震災の影響で子どもに目を向ける余裕のない保護者の話をじっくり聞くことにより、気持ちの余裕が出てきた。</p> <p>4 教員に対してコンサルテーションを行うことにより、教員の悩みを共有することができた。</p> <p>5 スクールソーシャルワーカーを5名配置することにより、これまでできなかった様々なケースにも対応できた。</p> <p>○支援対象児童生徒数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>68人</td> <td>80人</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>91人</td> <td>100人</td> <td>100人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○相談内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>相談内容</th> <th>件数</th> <th>問題が解決</th> <th>支援中で好転</th> <th>支援中</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不登校</td> <td>62件</td> <td>6件</td> <td>11件</td> <td>45件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>暴力、非行・不良行為</td> <td>7件</td> <td>1件</td> <td>4件</td> <td>2件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>児童虐待</td> <td>11件</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>7件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>家庭環境の問題</td> <td>73件</td> <td>5件</td> <td>20件</td> <td>46件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>14件</td> <td>0件</td> <td>8件</td> <td>6件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>							主な指標項目	H24	H25	H26	小学生	68人	80人	80人	中学生	91人	100人	100人	相談内容	件数	問題が解決	支援中で好転	支援中	その他	不登校	62件	6件	11件	45件	0件	暴力、非行・不良行為	7件	1件	4件	2件	0件	児童虐待	11件	1件	2件	7件	1件	家庭環境の問題	73件	5件	20件	46件	2件	その他	14件	0件	8件	6件	0件
主な指標項目	H24	H25	H26																																																				
小学生	68人	80人	80人																																																				
中学生	91人	100人	100人																																																				
相談内容	件数	問題が解決	支援中で好転	支援中	その他																																																		
不登校	62件	6件	11件	45件	0件																																																		
暴力、非行・不良行為	7件	1件	4件	2件	0件																																																		
児童虐待	11件	1件	2件	7件	1件																																																		
家庭環境の問題	73件	5件	20件	46件	2件																																																		
その他	14件	0件	8件	6件	0件																																																		
成果に係る評価	<p>スクールソーシャルワーカーは、小・中学校における不登校、家庭問題、暴力行為、児童虐待、非行・不良行為、発達障害等の児童生徒に係る諸問題について学校と家庭を訪問し、家庭福祉や保健・医療の関係機関、警察やその他の専門機関と連携し、学校だけでは解決できない問題の早期対応や早期改善を図ってきた。スクールソーシャルワーカーが介入することにより、児童生徒、家庭、教職員が学校と一体となって問題に対応できるようになった。今後、長期的に事業を活用していきたい。</p>																																																						
予算の執行状況	(単位：円)																																																						
予算額	12,565,000	決算額	決算額の財源内訳																																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																	
		10,453,935	10,453,935																																																				

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																						
	1 項	教育総務費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる																																						
	7 目	東日本大震災関係費		( )		( 3 )	子どものケアの実施																																						
実施計画掲載ページ	P198		中 事 業	ハイスクールカウンセラー配置事業費																																									
事業コード	004-103-002-00525		事 業 名	ハイスクールカウンセラー配置事業〔復興基金〕																																									
目的及び事業内容	<p>カウンセラーによる相談活動を通して、生徒・保護者・教職員の精神的安定を図るとともに、問題行動等の未然防止や解決による生徒の健全育成に資する。</p> <p>1 ハイスクールカウンセラーの配置</p> <p>2 生徒・保護者・教職員へのカウンセリングの実施</p> <p>3 学校におけるカウンセリング講座等の支援活動</p>																																												
取組実績	<p>1 ハイスクールカウンセラーの配置</p> <p>市立高等学校2校に配置</p> <p>2 生徒・保護者・教職員の要望に応じたカウンセリングの実施</p> <p>1日6時間、年間30日の勤務を原則とし、月平均2～3日の勤務体制でカウンセリングを実施した。</p> <p>3 カウンセリング講座等の支援活動</p> <p>(1) 教職員・生徒を対象としたカウンセリングに関する講座の実施 (2回)</p> <p>(2) 教育相談情報交換会・ケース会議 (6回) の実施</p>																																												
成 果	<p>生徒の不安や悩みの状況に応じたカウンセリングが実施されており、生徒の心の安定を図る上で効果的に機能している。また、カウンセラーと教職員との情報交換やケース会議等を通じて、学校内で連携が取られ、心の問題を抱える生徒に対して適時な対応を行うことができた。特に支援が必要な生徒については、カウンセラー・教育相談係・養護教諭・担任等との連携により、本人及び保護者に対するアドバイス等を行うことで成果が上がっている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>244件</td> <td>245件</td> <td>292件</td> <td>285件</td> <td>222件</td> </tr> <tr> <td>相談人数</td> <td>342人</td> <td>314人</td> <td>358人</td> <td>354人</td> <td>272人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26相談人数内訳</th> <th>生 徒</th> <th>教職員</th> <th>保護者</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>女子高校</td> <td>36人</td> <td>69人</td> <td>6人</td> <td>111人</td> </tr> <tr> <td>女子商業高校</td> <td>48人</td> <td>110人</td> <td>3人</td> <td>161人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>84人</td> <td>179人</td> <td>9人</td> <td>272人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 生徒の相談内容は、多い順に、「人間関係・友人関係」、「家族関係」、「学校生活」である。</p> <p>※ 教職員の相談件数は、「情報交換」だけで122件である。</p> <p>※ 「震災関係」の相談はなかった。</p>							主な指標項目	H22	H23	H24	H25	H26	相談件数	244件	245件	292件	285件	222件	相談人数	342人	314人	358人	354人	272人	H26相談人数内訳	生 徒	教職員	保護者	計	女子高校	36人	69人	6人	111人	女子商業高校	48人	110人	3人	161人	計	84人	179人	9人	272人
主な指標項目	H22	H23	H24	H25	H26																																								
相談件数	244件	245件	292件	285件	222件																																								
相談人数	342人	314人	358人	354人	272人																																								
H26相談人数内訳	生 徒	教職員	保護者	計																																									
女子高校	36人	69人	6人	111人																																									
女子商業高校	48人	110人	3人	161人																																									
計	84人	179人	9人	272人																																									
成果に係る評価	<p>多感な時期にある高校生は心にかかえる悩みも多く、カウンセラーに話を聞いてもらうことによって支えられる部分も大きい。生徒の心を安定させ、落ち着いた学校生活を送らせるために、カウンセラーによる相談体制を維持することは必要である。平成27年度からは桜坂高等学校として、今まであった二つの学校が一つの校舎で学校生活を送ることとなり、何かにつけストレスを感じ、問題行動等の増加も心配される。これらのことから、ハイスクールカウンセラー配置事業の効果は大きく、今後も継続が必要である。</p>																																												
予算の執行状況	(単位：円)																																												
予算額	1,880,400	決算額	決算額の財源内訳																																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																							
		1,880,400	1,880,400																																										

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 2 )	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																											
	1 項	教育総務費		第 節		( 1 )	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																											
	7 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	被災者への生活支援																											
実施計画掲載ページ		P151	中 事 業		震災奨学金給付事業費																													
事業コード		002-101-001-00355	事 業 名		震災奨学金給付事業																													
目的及び事業内容		<p>東日本大震災により親が死亡又は行方不明となり、父母のない児童生徒に対して震災奨学金を給付することにより、安定した修学の機会を提供し、もって有能な人材を育成する。</p> <p>(1) 対象者 震災当時石巻市内に住所を有していた親が、震災により死亡又は行方不明となり、両親がいなくなった小・中・高校生。未就学児においては、小学校へ入学後、給付開始とする。</p> <p>(2) 給付額 ア 月額（年額） 小学校等に在学する者 10,000円（120,000円） 中学校等に在学する者 20,000円（240,000円） 高等学校等に在学する者 30,000円（360,000円） イ 一時金 中学校3年生 300,000円 高校3年生 500,000円</p> <p>(3) 給付の期間 対象者が高等学校等を卒業するまで給付する。ただし、学校教育法に規定する修業年限内とする。</p>																																
取組実績		<p>1 対象者への制度の周知 市立小学校、中学校及び管内の高校に対し、制度について周知依頼を行った。</p> <p>2 給付の拡充 条例を改正し、一時金として中学校3年生に30万円、高校3年生に50万円を給付することとし、平成24年度に遡って給付を行った。</p>																																
成 果		<p>平成26年度は小学生8名、中学生8名、高校生13名の計29名の震災孤児に奨学金を給付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>8人</td> <td>960,000 円</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>8人</td> <td>1,920,000 円</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>13人</td> <td>4,680,000 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>29人</td> <td>7,560,000 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>一時金として、中学生10名、高校生14名の震災孤児に給付をした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学生</td> <td>10人</td> <td>3,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>14人</td> <td>7,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>24人</td> <td>10,000,000 円</td> </tr> </tbody> </table>						区分	人数	給付額	小学生	8人	960,000 円	中学生	8人	1,920,000 円	高校生	13人	4,680,000 円	合計	29人	7,560,000 円	区分	人数	給付額	中学生	10人	3,000,000 円	高校生	14人	7,000,000 円	合計	24人	10,000,000 円
区分	人数	給付額																																
小学生	8人	960,000 円																																
中学生	8人	1,920,000 円																																
高校生	13人	4,680,000 円																																
合計	29人	7,560,000 円																																
区分	人数	給付額																																
中学生	10人	3,000,000 円																																
高校生	14人	7,000,000 円																																
合計	24人	10,000,000 円																																
成果に係る評価		震災奨学金の給付により、教育の充実が図られた。																																
(単位：円)																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	17,560,000	17,560,000			17,560,000																													

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	1 項	教育総務費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる
	7 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ		P190	中 事 業		適応指導教室整備事業費		
事業コード		004-101-001-00551	事 業 名		適応指導教室整備事業〔復興交付金・復興基金〕		
目的及び事業内容		東日本大震災で被災し使用不可能となった適応指導教室を移転新築し、不登校児童生徒個々の実態に応じた生徒指導、学習指導、適応指導を行い、自立を促しながら学校への復帰を図る。					
取組実績		<p>適応指導教室整備事業</p> <p>1 建設事業費（土地購入費、備品購入費含む。） 117,960,763円</p> <p>2 各種面積 (1) 敷地面積 502.72㎡ (2) 建築面積 233.26㎡ (3) 延床面積 233.26㎡</p> <p>3 施設概要 (1) 場 所 石巻市向陽町3丁目13番7号 (2) 施設概要 指導員室、教室、実習室・図書室、多目的室、カウンセリング室(1)、カウンセリング室(2)</p>					
成 果		<p>H25年度に適応指導教室整備のための土地取得及び設計業務が完了し建設工事を開始した。 H26年度も引き続き工事が進められ、11月に施設が完成し、備品購入などの開設準備を進め、H27年1月から新施設の使用を開始した。</p>					
成果に係る評価		関係課と連携しながら、適応指導教室整備事業を推進し、H26年度中に開設することができた。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	87,830,000	84,686,763			64,445,283	20,241,480	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のための伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	1 項	教育総務費				( 1 )	未来の人を育てる
	7 目	東日本大震災関係費				( 3 )	子どものケアの実施
実施計画掲載ページ		P 199	中 事 業	防災教育充実事業費			
事業コード		004-103-002-00528	事 業 名	防災教育充実事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容		<p>地域ぐるみの防災教育の実践を通して、非常時においても地域との絆が生かされる基盤を形成し、子どもにとって安心、安全な地域環境づくりを進めるとともに、教材等の作成を通して、児童生徒が災害と向き合い、たくましく生きる災害対応能力の育成を促進する。</p> <p>1 地域ぐるみの防災教育の推進 2 児童生徒の災害対応能力の育成のための学校教材等の作成</p>					
取組実績		<p>1 学校防災推進会議の設置と協議 有識者、学校関係者、市担当部局、関係機関担当者等で構成する学校防災推進会議において、市としての学校防災の今後の在り方について協議を行い、協議結果を基に具体的な事業を展開した。主な事業としては、「学校防災基本方針」の改訂、「震災のまとめ記録集」の作成、「学校防災マニュアル」のチェックリストの作成、点検及び改善の指導を行った。また、小・中・高校生を対象にした「防災合言葉コンクール」を実施した。</p> <p>2 防災教育副読本・実践事例集の発行 本市の実態に即した防災教育推進のため、防災教育副読本を継続作成した。また、指導事例の累積と具体的な指導法の紹介を目的とし、副読本の実践事例集を作成し、全小中学校に配布した。</p> <p>&lt;平成26年度実績&gt; ・防災教育副読本 小学校下学年用 1,200冊 小学校上学年用 1,200冊 中学校用 1,400冊 ・実践事例集 1,000冊</p>					
成 果		<p>1 学校防災推進会議では、各ワーキンググループのテーマに基づき、具体的な事業を実施した。「学校防災マニュアル」のチェックリストの作成、点検及び改善の指導では、各担当者が市内全学校の防災主任に学校防災マニュアルに対する指導を行ったことにより、より内容の充実が図られた。また、避難訓練では地域や保護者との連携を図った実践的な防災訓練を実施することにより、児童生徒及び地域住民の防災への意識啓発に繋がった。</p> <p>2 副読本を活用した防災教育を展開することにより、児童生徒の防災に関する知識と災害対応力が向上した。 実践事例集を教師が活用することにより、副読本を活用した防災教育の向上が図られるとともに、教師自身の災害対応力の向上が図られた。</p>					
成果に係る評価		<p>学校防災推進会議では、地域防災連絡会の設置を促してきた。学校では地域と連携し避難訓練を実施することにより、学校防災の一層の充実を図ることができた。 また、今後も防災教育副読本の実践事例集を活用した防災教育を進めることにより、学校全体での災害対応力の向上に努めていくことが重要である。</p>					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,738,000		1,541,870			1,541,870	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のための伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	1 項	教育総務費				( 1 )	未来の人を育てる
	7 目	東日本大震災関係費				( 3 )	子どものケアの実施
実施計画掲載ページ		P 198	中 事 業	震災心のサポート事業費			
事業コード		004-103-002-00526	事 業 名	心のケア充実事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容		<p>1 児童精神科医による巡回相談及び健康実態調査業務 震災により、心に深い傷を受けた園児、児童生徒等に対し、医療専門家による巡回相談や健康実態調査を行い、よりきめ細やかな心のケアを実施する。</p> <p>2 震災心の支援室業務 震災により、死亡又は行方不明となった児童生徒の御遺族に対して、相談員、臨床心理士による個別相談等の支援活動を実施する。</p>					
取組実績		<p>1 児童精神科医による巡回相談及び健康実態調査業務 (1) 医療専門家による巡回相談の実施・・・震災直後から支援に入っている国立国際医療研究センター国府台病院(千葉県)の児童精神科の医師が定期的に来石し、要請に基づいて、問題を抱えた児童生徒やその保護者、教員に対する相談活動を行っている。</p> <p>(2) 園児、児童生徒に対する健康実態調査の実施・・・市立幼稚園、小・中学校及び高等学校の全園児、児童生徒に対して「健康実態調査」を行い、震災後の園児、児童生徒の心身の健康状態に関するデータを集約し、その結果について各園・学校にフィードバックを行い、支援や指導の充実に役立てている。</p> <p>(3) 園児、児童生徒等の心のケアに携わる者が一体となった心の支援体制の確立・・・毎月関係機関が集まり、児童精神科の医師がスーパーバイザーとなって問題を抱える子どもたちに対するケース会議を行っている。</p> <p>2 震災心の支援室事務 御遺族の状況調査や戸別訪問、希望による電話・来室相談等の実施、関係機関との連絡調整</p>					
成 果		<p>1 児童精神科医による巡回相談及び健康実態調査業務 (1) 毎月、1～3名の児童精神科の医師が2～3日間石巻市に滞在し、要請のあった学校及び家庭等を訪問し、相談活動を行った。専門的な立場からアドバイスをし、支援や指導に役立てているとともに、必要な場合は、県内の病院につなぐケースもある。H26は、のべ31日間にわたって、99件の相談に対応した。</p> <p>(2) 児童精神科医が、H23から継続して実態調査を行い、データに基づいて、支援や指導のアドバイスを行っている。トラウマについては、H25とH26であまり変化が見られないことから、一応落ち着いたとの判断をした。フィードバックの際は、学校ごとに面談し、全体の傾向だけでなく、学校の傾向や配慮を必要とする児童生徒についてもアドバイスをし、その後の指導に生かしている。</p> <p>(3) 毎月、「石巻市子ども支援関係者会議」を開催し、関係機関が問題を抱える児童生徒のケース会議を行い、支援に役立てている。</p> <p>(メンバー) 国府台病院児童精神科医師、精神科医師、児童相談所、虐待防止センター、保護課、健康推進課、スクールソーシャルワーカー、学校教育課、当該学校職員等</p> <p>2 震災心の支援室事務 連絡が可能となった御遺族と面会し、相談活動と事業の説明等を行うことができた。</p>					
成果に係る評価		<p>1 児童精神科医による巡回相談及び健康実態調査業務 相談活動に関しては、身近に専門家がないため、定期的に要請する学校もある。児童生徒本人のみならず、その養育に悩む保護者や指導に苦慮している教員のニーズは非常に高い。 また、健康実態調査についても、継続して結果を累積することにより、児童生徒一人一人の過去から現在にわたる状態を把握することができ、積極的な支援や指導を行う上で役に立っている。 子ども支援会議についても、学校単独では対応しきれない事例が多くなってきており、家庭の問題等について様々な立場からの情報をもとに話し合いを行うことができる機会として、大切な役割を担っている。</p> <p>2 震災心の支援室事務 震災直後から現在までの御遺族に対する心の支援は決して十分とは言えない状況であり、現在でも多くの方が一日も心の癒えることのない生活を送っている。可能な限り心の安定に寄与できるようなサポートを行うことが重要課題である。</p>					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	3,694,000		2,133,585			2,133,585	



予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																																						
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																																						
	1 目	学校管理費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		( )																																						
実施計画掲載ページ	P21		中 事 業	小学校管理費（教育総務課）																																									
事業コード	002-001-003-00217		事 業 名	遠距離通学支援事業（小学校）																																									
目的及び事業内容	<p>市立小学校の統廃合等により遠距離通学となる児童に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス等の運行</li> <li>・遠距離通学費補助金の交付</li> </ul>																																												
取組実績	<p>市立小学校の統廃合等により遠距離通学となる児童に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施した。</p> <p>1 スクールバス等の運行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">スクールバス等</td> <td>H25</td> <td>7校</td> <td>224人</td> <td>46,134,355 円</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>7校</td> <td>255人</td> <td>48,912,984 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">スクールボート (鮎川小学校)</td> <td>H25</td> <td>0校</td> <td>0人</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>1校</td> <td>1人</td> <td>3,090,360 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※スクールバス等対象校（H26） 稲井小学校、東浜小学校、二俣小学校、大須小学校、中津山第一小学校、桃生小学校、大原小学校</p> <p>2 遠距離通学費補助金の交付</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">遠距離通学費補助金</td> <td>H25</td> <td>4校</td> <td>66人</td> <td>1,880,880 円</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>2校</td> <td>46人</td> <td>1,912,853 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※遠距離通学補助金対象校（H26） 大谷地小学校、二俣小学校</p>								区分	年度	学校数	対象人数	金額	スクールバス等	H25	7校	224人	46,134,355 円	H26	7校	255人	48,912,984 円	スクールボート (鮎川小学校)	H25	0校	0人	0 円	H26	1校	1人	3,090,360 円	区分	年度	学校数	対象人数	金額	遠距離通学費補助金	H25	4校	66人	1,880,880 円	H26	2校	46人	1,912,853 円
	区分	年度	学校数	対象人数	金額																																								
	スクールバス等	H25	7校	224人	46,134,355 円																																								
H26		7校	255人	48,912,984 円																																									
スクールボート (鮎川小学校)	H25	0校	0人	0 円																																									
	H26	1校	1人	3,090,360 円																																									
区分	年度	学校数	対象人数	金額																																									
遠距離通学費補助金	H25	4校	66人	1,880,880 円																																									
	H26	2校	46人	1,912,853 円																																									
成 果	<p>市立小学校の統廃合により遠距離通学となった児童に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施することにより、登下校中の児童の安全・安心の確保が図られた。</p>																																												
成果に係る評価	<p>遠距離通学となる児童の安全・安心を図るために継続が求められる事業であることから、地域の実情に配慮しながら引き続き適正な通学支援を継続する必要がある。</p>																																												
(単位：円)																																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																							
	56,023,000	53,916,197	1,482,624			52,433,573																																							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )		
	2 項	小学校費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		( )		
	1 目	学校管理費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		( )		
実施計画掲載ページ	P31		中 事 業	小学校管理費（学校教育課）					
事業コード	002-003-001-00234		事 業 名	小学校外国語活動指導補助員活用事業					
目的及び事業内容	<p>小学校学習指導要領の改訂により、小学校第5学年及び第6学年に外国語活動が新設され、平成23年度から全面実施されたことにより、小学校に外国語活動指導補助員を配置し、外国語活動の充実を図るとともに、教員の指導力の向上を図る。</p>								
取組実績	<p>小学校外国語活動指導補助員による外国語活動の授業実践 補助員9名を希望のあった28校に配置し、1クラス当たり年間25時間の外国語活動の補助を行った。なお、外国語活動は、年間35時間だが、残りの10時間は外国語指導助手（ALT）とのチームティーチングを行っている。</p>								
成 果	<p>1 児童の興味・関心の向上 (1) 外国語に堪能な補助員の英語での指示や会話を聞かせることにより、児童の外国語への興味・関心を高めることができた。（外国語活動の授業が楽しいと感じる児童の割合…85%） (2) 担任と補助員が英語でデモンストレーションを行うことで、よりイメージを膨らませ外国語活動に意欲的に取り組ませることができた。</p> <p>2 コミュニケーション能力の向上 補助員の支援により、児童の発音やコミュニケーション能力を高める手法として有効であった。</p> <p>3 担任の指導力の向上 外国語活動を指導する担任教師に対し、指導補助員が適切に補助を行い、安心して指導に当たることができると同時に、担任が指導法を学ぶことにより、指導力の向上につながった。</p>								
成果に係る評価	<p>平成23年度から小学校5・6年生において年間35時間の外国語活動が義務付けられ、実施している。担任と補助員とが適切に役割分担をし、協力して授業を進めていくことで、指導計画の充実及び担任教師の指導力の向上が図られており、成果を上げている。 さらに、小学校の英語の教科化と3学年からの外国語活動実施を見据え、外国語活動と英語科への指導員を希望する全小学校への配置を目指し、外国語指導助手（ALT）と調整しながら、補助員の増員を考えていく必要がある。</p>								
(単位：円)									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源			
	3,200,000	2,554,250				2,554,250			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )											
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )											
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )											
実施計画掲載ページ		P 17	中 事 業		小学校保健費													
事業コード		002-001-002-00221	事 業 名		学校医・薬剤師配置事業（小学校）													
目的及び事業内容		<p>学校保健安全法に基づき、各学校に学校医等を配置し、定期健診、健康相談及び衛生点検等を実施することにより、児童に係る疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校医の配置</li> <li>・学校薬剤師の配置</li> </ul>																
取組実績		<p>1 学校医の配置 市立小学校37校に、学校医を委嘱（内科、眼科、耳鼻科、歯科）し、定期健康診断や就学時健康診断の健診業務を実施</p> <p>・委嘱した学校医の人数</p> <table border="1"> <tr><td>内 科 医</td><td>29 人</td></tr> <tr><td>眼 科 医</td><td>4 人</td></tr> <tr><td>耳 鼻 科 医</td><td>5 人</td></tr> <tr><td>歯 科 医</td><td>30 人</td></tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 市立小学校37校に、学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施</p> <p>・委嘱した学校薬剤師の人数</p> <table border="1"> <tr><td>薬 剤 師</td><td>18 人</td></tr> </table>							内 科 医	29 人	眼 科 医	4 人	耳 鼻 科 医	5 人	歯 科 医	30 人	薬 剤 師	18 人
内 科 医	29 人																	
眼 科 医	4 人																	
耳 鼻 科 医	5 人																	
歯 科 医	30 人																	
薬 剤 師	18 人																	
成 果		<p>1 定期健康診断等の結果に基づき、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、児童の健全な育成や健康の保持、増進が図られた。</p> <p>2 学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p>																
成果に係る評価		<p>学校に学校医等を配置し、定期健診、健康相談及び衛生点検等を実施することについては、児童に対して的確な予防指導を行っていく上で重要な事業である。 今後も学校医・学校・保護者等相互の連携のもと児童の健全育成のため実施する必要がある。</p>																
（単位：円）																		
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳													
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源										
	32,463,000		30,529,680		432,000			30,097,680										

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																					
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																					
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																					
実施計画掲載ページ		P 17	中 事 業		小学校保健費																							
事業コード		002-001-002-00219	事 業 名		健康診断・検査等実施事業（小学校）																							
目的及び事業内容		<p>学校保健安全法に基づき、定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、児童の健康の保持増進を図り、疾病等の早期発見に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断の実施</li> <li>・飲料水水質検査の実施</li> </ul>																										
取組実績		<p>1 健康診断検査項目及び対象学年</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th>学年</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>内科健診</td><td>全学年</td></tr> <tr><td>眼科健診</td><td>全学年</td></tr> <tr><td>耳鼻科健診</td><td>2・4・6年生</td></tr> <tr><td>歯科健診</td><td>全学年</td></tr> <tr><td>結核検診</td><td>全学年</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th>学年</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>心臓病検診</td><td>1・4年生</td></tr> <tr><td>尿検査</td><td>全学年</td></tr> <tr><td>寄生虫卵検査</td><td>1・2・3年生</td></tr> </tbody> </table> <p>2 飲料水水質検査項目 遊離残留塩素、色度・濁度・臭気・味、水素イオン濃度、一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、全有機炭素、鉄 学校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行った。</p>							項目	学年	内科健診	全学年	眼科健診	全学年	耳鼻科健診	2・4・6年生	歯科健診	全学年	結核検診	全学年	項目	学年	心臓病検診	1・4年生	尿検査	全学年	寄生虫卵検査	1・2・3年生
項目	学年																											
内科健診	全学年																											
眼科健診	全学年																											
耳鼻科健診	2・4・6年生																											
歯科健診	全学年																											
結核検診	全学年																											
項目	学年																											
心臓病検診	1・4年生																											
尿検査	全学年																											
寄生虫卵検査	1・2・3年生																											
成 果		<p>各健康診断・検査を行い、児童に係る疾病等の早期発見、早期治療、生活習慣の改善を促し健康管理に努めた。 また、学校の水道水を飲料水としても利用することから、水質検査を行うことで、安全な水質環境の維持が図られた。</p> <table border="1"> <tr><td>1 定期健康診断</td><td>小学生</td><td>7,205人</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>心臓病検診</td><td>1年生</td><td>1,154人</td><td>4年生</td><td>1,225人</td></tr> </table> <p>2 飲料水水質検査 小学校 36校</p>							1 定期健康診断	小学生	7,205人			心臓病検診	1年生	1,154人	4年生	1,225人										
1 定期健康診断	小学生	7,205人																										
心臓病検診	1年生	1,154人	4年生	1,225人																								
成果に係る評価		<p>児童の健康増進を図るとともに、疾病等の早期発見のため必要な事業である。 また、近年は生活習慣の乱れによる肥満の増加や生活習慣病の低年齢化など、児童を取り巻く健康問題は多様化してきており、各種健診・検査の結果を踏まえた適切な指導のために実施することが必要となっている。</p>																										
（単位：円）																												
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																							
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																				
	9,863,000		9,050,886		17,000			9,033,886																				

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )	
実施計画掲載ページ		P 17	中 事 業	小学校保健費				
事業コード	002-001-002-00220	事 業 名	就学時健康診断実施事業					
目的及び事業内容	学校保健安全法に基づき、就学予定児に対し、あらかじめ健康診断を行うことにより、健康状況を把握しつつ、学校保健安全に必要な助言・指導を行うことを目的としている。							
取組実績	1 児童の健康診断検査項目 内科健診、眼科健診、耳鼻科健診、歯科健診、視力検査、聴力検査を実施した。							
成 果	学校保健安全上、必要な助言・指導を行うことにより、小学校等への円滑な就学が図られた。 1 就学時健康診断 1,107人							
成果に係る評価	次年度就学予定児の健康診断等を行い、健康状態を把握し学校保健安全に必要な助言・指導を行うため、今後も継続し実施する必要がある。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	4,398,000	3,684,540				3,684,540		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	2 3 4 項	小学校費 中学校費 高等学校費		第 節			( 1 )	未来の人を育てる
	1 3 4 目	学校管理費 東日本大震災関係費		( )			( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ		P 188	中 事 業	学校施設維持整備費（小学校・中学校・高等学校） 太陽光発電設備整備事業費（小学校・中学校・高等学校）				
事業コード	004-101-001-00478	事 業 名	学校施設太陽光発電設備整備事業〔復興基金〕					
目的及び事業内容	指定避難場所となる学校施設において太陽光発電設備の整備を行い、非常時における電源を確保する。							
取組実績	平成26年度 整備実績 整備校 石巻小学校、釜小学校、稲井小学校、万石浦小学校、 門脇中学校、蛇田中学校、稲井中学校、 桜坂高等学校  平成27年度整備に向け、設計を実施した学校数 小学校 9校 中学校 7校							
成 果	学校施設は指定避難場所に指定されており、災害発生時には、重要な役割を担っていることから、本事業により防災機能の強化が図られた。 平成26年度末において、13校の整備が図られ、平成27年度末では、29校となる見込みである。							
成果に係る評価	学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、また、地域住民にとっても身近な公共施設であるとともに災害発生時の避難場所として重要な役割を担っている。 「公共施設における防災機能等の強化に関する基本方針」に基づき、太陽光発電システム等を整備し、防災機能の強化を推進するため、事業を継続する必要がある。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	317,861,000	296,499,028	86,603,760		48,424,792	161,470,476		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )	
実施計画掲載ページ	P22		中 事 業	小学校教育用コンピューター関係費				
事業コード	002-001-003-00240		事 業 名	情報教育環境整備事業（小学校）				
目的及び事業内容	国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。市内小学校の教育用コンピューターや周辺機器の更新を計る。							
取組実績	小学校教育用コンピューター整備状況							
	整備年度		整備内容					
		教育用コンピューター		電子黒板				
H21		河北地区 5校： 86台		河北地区 5校： 10台				
		桃生地区 3校： 56台		桃生地区 3校： 6台				
H22		河南地区 6校： 127台		河南地区 6校： 12台				
		牡鹿地区 4校： 42台		牡鹿地区 4校： 8台				
H25		河北地区 1校： 7台		河北地区 1校： 1台				
		雄勝地区 2校： 5台		雄勝地区 2校： 3台				
		北上地区 1校： 15台		北上地区 1校： 1台				
H26		石巻地区 8校： 152台		石巻地区 8校： 25台				
※ 平成21年度については、緊急経済対策事業で実施 ※ 平成23、24年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ。								
成 果	・児童が I T の活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。 ・情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。 ・各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。 ・平成25年度より教育用コンピューターの更新に合わせ、タブレットを整備している。平成26年度は52台整備した。							
成果に係る評価	・小学校の教育用コンピューターについては、文科省の整備基準（児童3.6人に1台、普通教室・特別教室に校内LANの設置）を定めているが、石巻市の現状に即した有効的な整備内容を考察しながら、計画的に整備する。 ・電子黒板等の最新の I C T 機器の整備については、石巻市情報教育推進委員会において、使用する教員が使いやすく、児童にわかりやすい授業が展開できる製品を選定するとともに運用方法についても検討している。 ・教職員の電子黒板等 I C T 機器の利活用能力の向上を図る必要がある。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	50,677,000	50,561,603				50,561,603		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境を整える		( )	
実施計画掲載ページ	P21		中 事 業	小学校教育振興援助費				
事業コード	002-001-003-00222		事 業 名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（小学校）				
目的及び事業内容	経済的な事情により就学が困難な児童の保護者に対し就学援助費の助成を行うとともに、特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し特別支援教育就学奨励費の助成を行うことにより、経済的な負担を軽減する。 ・就学援助費の助成 ・特別支援教育就学奨励費の助成							
取組実績	1 就学援助費							
	認定者数 694名 / 児童数 7,217名 (9.62%)							
学用品費		8,841,374 円						
校外活動費（泊無し）		1,262,380 円						
校外活動費（泊付き）		314,310 円						
通学費		13,660 円						
新入学用品費		1,924,180 円						
修学旅行費		2,336,890 円						
給食費		28,763,868 円						
医療費		515,810 円						
計		43,972,472 円						
取組実績	2 特別支援教育就学奨励費							
	認定者数 114名 / 児童数 7,217名 (1.58%)							
学用品費		360,215 円						
校外活動費（泊無し）		13,397 円						
校外活動費（泊付き）		33,395 円						
通学費		484,014 円						
新入学用品費		92,115 円						
修学旅行費		156,241 円						
給食費		1,279,895 円						
交流学習交通費		9,020 円						
ことばの教室通級費		146,093 円						
計		2,574,385 円						
成 果	経済的な事情により就学が困難な児童の保護者に対し就学援助費の助成、又は、特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し特別支援教育就学奨励費の助成を行うことにより、保護者の経済的な負担を軽減できた。							
成果に係る評価	就学援助費の助成、又は、特別支援教育就学奨励費の助成により、児童の就学機会に寄与することができた。 今後も経済的な事情により就学が困難な児童の保護者や特別支援学級へ就学する児童の保護者への支援を継続する必要がある。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	49,152,000	46,546,857	1,515,000			45,031,857		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																																				
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																																				
	2 目	教育振興費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		( )																																				
実施計画掲載ページ	P 22		中 事 業	小学校図書整備事業費																																							
事業コード	002-001-003-00239		事 業 名	学校図書整備事業（小学校）																																							
目的及び事業内容	<p>全国的な傾向である小中学生の読書離れが進む中、文部科学省では子どもの読書活動の推進や学校教育における言語力の涵養に資するためには、学校図書館の充実が必要であるとの認識に基づき、平成24年度から平成28年度までの5年間で新たな「学校図書館図書整備5カ年計画」として策定し、整備を推進している。本市も学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童生徒の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るために、市内小中学校の学校図書を整備するもの。</p>																																										
取組実績	<p>市内全ての小学校において、学校図書館標準冊数に対する充足率が100%となることを目標とし、低充足率の学校に予算を重点配分したことによる購入のほか、厚意での図書の寄附による整備により学校図書の充実を図った。 平成26年度は、大口の図書の寄贈があったため、図書整備数が増加した。</p> <p>&lt;小学校図書の整備冊数&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32,143冊</td> <td>17,276冊</td> <td>24,512冊</td> <td>25,027冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 寄贈含む。</p>								H23	H24	H25	H26	32,143冊	17,276冊	24,512冊	25,027冊																											
	H23	H24	H25	H26																																							
32,143冊	17,276冊	24,512冊	25,027冊																																								
成 果	<p>学校図書の整備充実を図り、学習活動に積極的に活用することにより学習効果が図られ、児童が自ら進んで言葉遊び、感性・表現力・創造力等の生きる力がより育成された。 平成26年度は多くの寄贈を受けたため、整備冊数が大幅に増えたことにより充足率の向上が図られ、学習効果の向上が図られた。</p> <p>&lt;小学校図書充足率達成状況&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>達成率</th> <th>平成23年度末</th> <th>平成24年度末</th> <th>平成25年度末</th> <th>平成26年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%以上 (A)</td> <td>8校</td> <td>9校</td> <td>12校</td> <td>11校</td> </tr> <tr> <td>75%以上-100%未満</td> <td>11校</td> <td>10校</td> <td>14校</td> <td>18校</td> </tr> <tr> <td>50%以上-75%未満</td> <td>18校</td> <td>18校</td> <td>11校</td> <td>8校</td> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>6校</td> <td>5校</td> <td>2校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>合計 (B)</td> <td>43校</td> <td>42校</td> <td>39校</td> <td>37校</td> </tr> <tr> <td>100%以上達成校の割合 (A/B)</td> <td>18.60%</td> <td>21.43%</td> <td>30.77%</td> <td>29.73%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成26年度末の数値には、休校中の荻浜小学校は含めていない。</p>								達成率	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	100%以上 (A)	8校	9校	12校	11校	75%以上-100%未満	11校	10校	14校	18校	50%以上-75%未満	18校	18校	11校	8校	50%未満	6校	5校	2校	0校	合計 (B)	43校	42校	39校	37校	100%以上達成校の割合 (A/B)	18.60%	21.43%	30.77%	29.73%
達成率	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末																																							
100%以上 (A)	8校	9校	12校	11校																																							
75%以上-100%未満	11校	10校	14校	18校																																							
50%以上-75%未満	18校	18校	11校	8校																																							
50%未満	6校	5校	2校	0校																																							
合計 (B)	43校	42校	39校	37校																																							
100%以上達成校の割合 (A/B)	18.60%	21.43%	30.77%	29.73%																																							
成果に係る評価	<p>学校図書を学習活動に積極的に活用し、学習効果の向上を図るには、児童の課題解決に沿った図書が整備充実され、いつでも気軽に利用できるような環境を整えることが必要である。学校図書整備はその基本となる事業であり、今後とも読書環境の整備に努めたい。 老朽化した図書が多くなってきているので、計画的な図書の更新を図りたい。</p>																																										
予算の執行状況	(単位：円)																																										
予算額	20,700,000	決算額	決算額の財源内訳																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
		20,603,405			4,494,000	16,109,405																																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																															
	2 項	小学校費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																															
	3 目	学校建設費		(3)	充実した教育を行える環境をつくる		( )																															
実施計画掲載ページ	P 24		中 事 業	山下小学校空気調和設備機器等機能復旧事業費																																		
事業コード	002-001-003-00248		事 業 名	山下小学校空気調和設備機器等機能復旧事業																																		
目的及び事業内容	<p>【目的】 本校の空気調和設備機器は、昭和58～昭和59年度にかけて暖房機を2基を設置したものであるが、老朽化が進み、メンテナンスの範囲において維持していくことが困難になっている。また、防衛局で定める耐用年数（15年）を超過するため、平成22年度、23年度に機能調査、平成25年度に改修設計、平成26年度に暖房機の機能復旧工事を実施する。 【事業内容】 老朽化した暖房機の機能復旧工事</p>																																					
取組実績	<p>次のとおり、本事業を実施。 平成25年度 設計 平成26年度 工事</p>																																					
	成 果	<p>平成26年度に工事を発注した。（平成27年度に繰越し、平成27年度には工事が完了する見込み）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">内容</th> <th colspan="3">成果指標</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>工事</td> <td>100%</td> <td>37.4%</td> <td>37.4%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>工事（繰越し）</td> <td>0%</td> <td>62.6%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※参考：実績値の算出は、工事請負費のH26決算及びH27繰越額で按分。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値算出</th> <th>H26予算</th> <th>H26決算</th> <th>H27繰越</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事費</td> <td>75,674,880円</td> <td>28,310,000円</td> <td>47,364,880円</td> </tr> <tr> <td>割合（実績値）</td> <td>100.0%</td> <td>37.4%</td> <td>62.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「予算の執行状況」欄の金額は、工事請負費以外の諸経費も含んだ金額で、本事業全体の金額である。</p>								区分	内容	成果指標			目標値	実績値	達成率等	H26	工事	100%	37.4%	37.4%	H27	工事（繰越し）	0%	62.6%	100.0%	実績値算出	H26予算	H26決算	H27繰越	工事費	75,674,880円	28,310,000円	47,364,880円	割合（実績値）	100.0%	37.4%
区分	内容	成果指標																																				
		目標値	実績値	達成率等																																		
H26	工事	100%	37.4%	37.4%																																		
H27	工事（繰越し）	0%	62.6%	100.0%																																		
実績値算出	H26予算	H26決算	H27繰越																																			
工事費	75,674,880円	28,310,000円	47,364,880円																																			
割合（実績値）	100.0%	37.4%	62.6%																																			
成果に係る評価	<p>老朽化した暖房機の機能復旧工事を実施した。（平成27年度へ繰越となり、平成27年度に工事が完了する見込み）</p>																																					
予算の執行状況	(単位：円)																																					
予算額	80,100,000	決算額	決算額の財源内訳																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																
		30,578,000			26,000,000	4,578,000																																

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	( )															
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )															
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )															
実施計画掲載ページ		P 26	中 事 業	小学校施設防水改修等事業費																		
事業コード	002-001-003-00257	事 業 名	小学校施設防水改修等事業〔地域の元気臨時交付金〕																			
目的及び事業内容	<p>【目的】          老朽化により雨漏りや雨の吹き込みが著しい学校施設について、防水対策の改修工事を実施し、児童生徒の学習活動に支障をきたさないよう整備を進める。</p> <p>【事業内容】          防水改修等工事</p>																					
取組実績	平成26年度の本事業実施小学校 中津山第一小学校 校舎防水改修等工事 湊小学校 屋内運動場防水改修等工事																					
成 果	平成26年度 中津山第一小学校校舎及び湊小学校屋内運動場の防水改修等工事を実施 ※平成26年度に学校施設の状況を調査し、年次計画を作成し、「防水改修等事業」から「老朽化対策事業」として、総合計画に位置づけし、「防水改修等事業」としては、平成26年度をもって終了とする。																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">内容</th> <th colspan="3">成果指標</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>中津山一小校舎 湊小屋内運動場</td> <td>2校</td> <td>2校</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		区分	内容	成果指標			備考	目標値	実績値	達成率等	H26	中津山一小校舎 湊小屋内運動場	2校	2校	100%						
区分	内容	成果指標			備考																	
		目標値	実績値	達成率等																		
H26	中津山一小校舎 湊小屋内運動場	2校	2校	100%																		
成果に係る評価	平成26年度 中津山第一小学校校舎及び湊小学校屋内運動場の防水改修等工事を実施し、目的を達成することができた。																					
(単位：円)																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	50,037,000	50,035,309	15,800,000	33,372,000	863,309																	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																											
	2 項	小学校費		第 節			( 1 )	未来の人を育てる																											
	4 目	東日本大震災関係費		( )			( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																											
実施計画掲載ページ		P 188	中 事 業	被災児童通学支援事業費																															
事業コード	004-101-001-00480	事 業 名	通学支援事業（小学校）																																
目的及び事業内容	東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった児童、学区外の仮設住宅等に入居し指定校まで遠距離通学となった児童及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する児童に対し、スクールバス等の運行による通学支援や公共交通機関の利用に係る負担額への助成を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。																																		
取組実績	東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった児童、学区外の仮設住宅等に入居し指定校まで遠距離通学となった児童及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する児童に対し、スクールバス等の運行による通学支援や公共交通機関の利用に係る負担額への助成を実施した。																																		
	(支援実績) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替え校スクールバス等</td> <td>3校</td> <td>98人</td> <td>33,424,740 円</td> </tr> <tr> <td>仮設住宅スクールバス等</td> <td>16校</td> <td>258人</td> <td>99,969,895 円</td> </tr> <tr> <td>通学路安全対策バス等</td> <td>2校</td> <td>59人</td> <td>16,334,280 円</td> </tr> <tr> <td>通学路安全対策補助金</td> <td>1校</td> <td>1人</td> <td>6,990 円</td> </tr> <tr> <td>スクールバス関連経費※</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>895,050 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>150,630,955 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※スクールバス駐車場修繕、除雪用重機借上げ経費等</p>								区分	学校数	対象人数	金額	代替え校スクールバス等	3校	98人	33,424,740 円	仮設住宅スクールバス等	16校	258人	99,969,895 円	通学路安全対策バス等	2校	59人	16,334,280 円	通学路安全対策補助金	1校	1人	6,990 円	スクールバス関連経費※	—	—	895,050 円	計	—	—
区分	学校数	対象人数	金額																																
代替え校スクールバス等	3校	98人	33,424,740 円																																
仮設住宅スクールバス等	16校	258人	99,969,895 円																																
通学路安全対策バス等	2校	59人	16,334,280 円																																
通学路安全対策補助金	1校	1人	6,990 円																																
スクールバス関連経費※	—	—	895,050 円																																
計	—	—	150,630,955 円																																
成 果	(支援状況) <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>状 況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大川小学校</td> <td>仮設校舎（二俣小学校）へスクールバス運行</td> </tr> <tr> <td>雄勝小学校</td> <td>仮設校舎（宮城県石巻北高等学校飯野川校）へスクールタクシー運行</td> </tr> <tr> <td>北上小学校</td> <td>旧相川・吉浜小学校の学区の児童を北上小学校へスクールバス運行</td> </tr> <tr> <td>湊小学校</td> <td>通学路安全対策のためスクールバス運行</td> </tr> <tr> <td>万石浦小学校</td> <td>通学路安全対策（祝田地区）のためスクールタクシー運行</td> </tr> <tr> <td>万石浦小学校</td> <td>通学路安全対策（沢田地区）のため通学費の助成</td> </tr> </tbody> </table>								学校名	状 況	大川小学校	仮設校舎（二俣小学校）へスクールバス運行	雄勝小学校	仮設校舎（宮城県石巻北高等学校飯野川校）へスクールタクシー運行	北上小学校	旧相川・吉浜小学校の学区の児童を北上小学校へスクールバス運行	湊小学校	通学路安全対策のためスクールバス運行	万石浦小学校	通学路安全対策（祝田地区）のためスクールタクシー運行	万石浦小学校	通学路安全対策（沢田地区）のため通学費の助成													
	学校名	状 況																																	
大川小学校	仮設校舎（二俣小学校）へスクールバス運行																																		
雄勝小学校	仮設校舎（宮城県石巻北高等学校飯野川校）へスクールタクシー運行																																		
北上小学校	旧相川・吉浜小学校の学区の児童を北上小学校へスクールバス運行																																		
湊小学校	通学路安全対策のためスクールバス運行																																		
万石浦小学校	通学路安全対策（祝田地区）のためスクールタクシー運行																																		
万石浦小学校	通学路安全対策（沢田地区）のため通学費の助成																																		
成果に係る評価	東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった児童、学区外の仮設住宅等に入居し指定校まで遠距離通学となった児童及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する児童に対し、スクールバス等の運行による通学支援や公共交通機関の利用に係る負担額への助成を実施したことにより、安全かつ安心して通学できる環境を提供することができた。																																		
成果に係る評価	児童の安全・安心を図るために継続が求められる事業である。 今後は、学校施設の復旧や被災者の再建状況等を踏まえながら事業を継続する必要がある。																																		
(単位：円)																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
	153,770,000	150,630,955	147,836,755	6,990		2,787,210																													

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																																												
	2 項	小学校費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる																																																												
	4 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																																												
実施計画掲載ページ	P 189		中 事 業	被災児童就学支援事業費																																																															
事業コード	004-101-001-00481	事 業 名	被災児童就学支援事業（小学校）																																																																
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により被災し、就学が困難となった児童の保護者に対し、就学援助費の助成を行うことにより、児童の就学の機会を確保する。          （支給対象者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住居の被害状況が半壊以上の判定を受けた世帯</li> <li>・世帯収入が著しく減少した世帯</li> </ul>																																																																		
取組実績	<p>1 就学援助費</p> <table border="1"> <tr> <td>認定者数</td> <td>2,262名</td> <td>/</td> <td>児童数</td> <td>7,217名</td> <td>(31.34%)</td> </tr> <tr> <td>学用品費</td> <td colspan="5">29,701,380 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（泊無し）</td> <td colspan="5">4,415,070 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（泊付き）</td> <td colspan="5">719,991 円</td> </tr> <tr> <td>通学費</td> <td colspan="5">0 円</td> </tr> <tr> <td>新入学用品費</td> <td colspan="5">7,082,620 円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td colspan="5">7,393,463 円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td colspan="5">96,874,087 円</td> </tr> <tr> <td>医療費</td> <td colspan="5">397,500 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td colspan="5">146,584,111 円</td> </tr> </table>							認定者数	2,262名	/	児童数	7,217名	(31.34%)	学用品費	29,701,380 円					校外活動費（泊無し）	4,415,070 円					校外活動費（泊付き）	719,991 円					通学費	0 円					新入学用品費	7,082,620 円					修学旅行費	7,393,463 円					給食費	96,874,087 円					医療費	397,500 円					計	146,584,111 円				
認定者数	2,262名	/	児童数	7,217名	(31.34%)																																																														
学用品費	29,701,380 円																																																																		
校外活動費（泊無し）	4,415,070 円																																																																		
校外活動費（泊付き）	719,991 円																																																																		
通学費	0 円																																																																		
新入学用品費	7,082,620 円																																																																		
修学旅行費	7,393,463 円																																																																		
給食費	96,874,087 円																																																																		
医療費	397,500 円																																																																		
計	146,584,111 円																																																																		
成 果	<p>東日本大震災により被災し、就学が困難となった児童の保護者に対し就学援助費を支給することにより、児童の就学の機会を確保することができた。</p>																																																																		
成果に係る評価	<p>就学援助費の助成により、被災した児童の就学機会に寄与することができた。          今後も東日本大震災により被災し、経済的な事情により就学が困難な児童の保護者への支援を継続する必要がある。</p>																																																																		
（単位：円）																																																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																													
	149,861,000	146,584,111	146,584,111																																																																

予算科目	10 款	教育費	総合計画	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	2 3 5 項	小学校費 中学校費 幼稚園費			( 1 )	未来の人を育てる
	4 4 2 目	東日本大震災関係費 東日本大震災関係費 東日本大震災関係費			( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ	P 188		中 事 業	二俣小学校耐震補強事業費 外8事業		
事業コード	004-101-001-00479	事 業 名	学校施設耐震補強事業（小学校、中学校、幼稚園）			
目的及び事業内容	<p>【目的】          児童・生徒・園児の安全確保を最優先とし、耐震診断の結果を踏まえ、学校施設の耐震化を図る。          【事業内容】          校舎・屋内運動場等の耐震補強事業</p>					
取組実績	<p>平成26年度 事業完了校          【平成25～26年度】          ①稲井小学校（校舎）          ②飯野川第一小学校（校舎）          ③鮎川小学校（校舎）          ④大原小学校（屋内運動場）          ⑤石巻中学校（校舎）          ⑥住吉幼稚園（園舎）          【平成26年度】          ①石巻中学校（屋内運動場）</p> <p>平成26年度着手→平成27年度事業完了予定校          ①二俣小学校（校舎）          ②門脇中学校（校舎）※災害復旧事業、老朽化対策事業と同時に実施</p>					
成 果	<p>耐震補強工事を実施した事により、児童・生徒・園児が安心して安全に学習できる環境が拡大した。また、学校施設は災害発生時の避難場所として重要な役割を担っているが、本事業により地域住民に安心と安全を提供する事ができた。</p>					
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童・生徒・園児が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、また、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどで利用する公共施設、及び災害発生時の避難場所として重要な役割を担っている。          今回、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に実施したことで、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心の確保に寄与した。          一部、平成27年度への繰越事業もあるが、予定していた耐震補強事業すべてに着手し、平成27年度の繰越事業も完了見込みであるから、本事業は目的を達成する見込みである。</p>					
（単位：円）						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	692,166,393	331,246,321	199,225,000	99,500,000		32,521,321

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる	
	2 項	小学校費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる	
	3 項	中学校費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興	
	4 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興	
実施計画掲載ページ		P191	中 事 業		雄勝地区小学校統合移転新築事業費 雄勝地区中学校統合移転新築事業費			
事業コード		004-101-001-00894	事 業 名		雄勝地区統合小・中学校移転新築事業〔復興交付金〕			
目的及び事業内容		<p>東日本大震災により被災した雄勝小学校、船越小学校及び雄勝中学校の移転新築を実施する。なお、船越小学校について、平成25年4月に雄勝小学校へ統合済み。また、大須小学校と大須中学校は、併設校開校時にそれぞれ統合する。</p> <p>・災害復旧事業：校舎、屋内運動場、プール、テニスコート、グラウンド等（別事業に掲載）          ・復興交付金事業：県道側溝改修、道路照明、散策路、植栽、太陽光発電設備等</p>						
取組実績		<p>平成25年度          ・雄勝地区統合小・中学校建設基本構想検討委員会を開催し、基本構想を策定。          平成26年度          ・県道側溝改修工事基本実施設計          ・県道側溝改修工事及び工事監理</p>						
成 果		県道側溝改修工事等に着手し、平成29年度開校に向け、予定通りに事業が執行できている。						
成果に係る評価		平成29年度開校に向け、県道側溝改修工事等について予定通り事業を進めることができたので、事業を継続する必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	10,091,818		6,736,748				5,388,000	1,348,748

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	復興計画	( )																																						
	3 項	中学校費		第 1 節		個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち 「生きる力」を持つ子どもたちを育成する	( )																																					
	1 目	学校管理費		( 3 )		充実した教育を行える環境をつくる	( )																																					
	実施計画掲載ページ			P21		中 事 業		中学校管理費（教育総務課）																																				
事業コード		002-001-003-00217	事 業 名		遠距離通学支援事業（中学校）																																							
目的及び事業内容		<p>市立中学校の統廃合等により遠距離通学となる生徒に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。          ・スクールバス等の運行          ・遠距離通学費補助金の交付</p>																																										
取組実績		<p>市立中学校の統廃合等により遠距離通学となる生徒に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施した。</p> <p>1 スクールバス等の運行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">スクールバス等</td> <td>H25</td> <td>4校</td> <td>60人</td> <td>31,492,220 円</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>4校</td> <td>77人</td> <td>32,094,556 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">スクールポート (牡鹿中学校)</td> <td>H25</td> <td>1校</td> <td>1人</td> <td>2,736,972 円</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>0校</td> <td>0人</td> <td>0 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※スクールバス等対象校（H26）          荻浜中学校、万石浦中学校、北上中学校、牡鹿中学校</p> <p>2 遠距離通学費補助金の交付</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">遠距離通学費補助金</td> <td>H25</td> <td>2校</td> <td>3人</td> <td>306,734 円</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>1校</td> <td>1人</td> <td>60,794 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※遠距離通学補助金対象校（H26）          桃生中学校</p>						区分	年度	学校数	対象人数	金額	スクールバス等	H25	4校	60人	31,492,220 円	H26	4校	77人	32,094,556 円	スクールポート (牡鹿中学校)	H25	1校	1人	2,736,972 円	H26	0校	0人	0 円	区分	年度	学校数	対象人数	金額	遠距離通学費補助金	H25	2校	3人	306,734 円	H26	1校	1人	60,794 円
区分	年度	学校数	対象人数	金額																																								
スクールバス等	H25	4校	60人	31,492,220 円																																								
	H26	4校	77人	32,094,556 円																																								
スクールポート (牡鹿中学校)	H25	1校	1人	2,736,972 円																																								
	H26	0校	0人	0 円																																								
区分	年度	学校数	対象人数	金額																																								
遠距離通学費補助金	H25	2校	3人	306,734 円																																								
	H26	1校	1人	60,794 円																																								
成 果		市立中学校の統廃合により遠距離通学となった生徒に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施することにより、登下校中の生徒の安全・安心の確保が図られた。																																										
成果に係る評価		遠距離通学となる生徒の安全・安心を図るために継続が求められる事業であることから、地域の実情に配慮しながら引き続き適正な通学支援を継続する必要がある。																																										
(単位：円)																																												
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																							
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																				
	33,224,000		32,155,350		21,853,703			10,301,647																																				



予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )											
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )											
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )											
実施計画掲載ページ		P 17	中 事 業	中学校保健費														
事業コード	002-001-002-00221	事 業 名	学校医・薬剤師配置事業（中学校）															
目的及び事業内容	<p>学校保健安全法に基づき、各学校に学校医等を配置し、定期健診、健康相談及び衛生点検等を実施することにより、生徒に係る疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校医の配置</li> <li>・学校薬剤師の配置</li> </ul>																	
取組実績	<p>1 学校医の配置 市立中学校20校に、学校医を委嘱（内科、眼科、耳鼻科、歯科）し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施</p> <p>・委嘱した学校医の人数</p> <table border="1"> <tr><td>内 科 医</td><td>20 人</td></tr> <tr><td>眼 科 医</td><td>5 人</td></tr> <tr><td>耳 鼻 科 医</td><td>5 人</td></tr> <tr><td>歯 科 医</td><td>21 人</td></tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 市立中学校20校に、学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施</p> <p>・委嘱した学校薬剤師の人数</p> <table border="1"> <tr><td>薬 剤 師</td><td>15 人</td></tr> </table>								内 科 医	20 人	眼 科 医	5 人	耳 鼻 科 医	5 人	歯 科 医	21 人	薬 剤 師	15 人
内 科 医	20 人																	
眼 科 医	5 人																	
耳 鼻 科 医	5 人																	
歯 科 医	21 人																	
薬 剤 師	15 人																	
成 果	<p>1 定期健康診断等の結果に基づき、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、生徒の健全な育成や健康の保持、増進が図られた。</p> <p>2 学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p>																	
成果に係る評価	<p>学校に学校医等を配置し、定期健診、健康相談及び衛生点検等を実施することについては、生徒に対して的確な予防指導を行っていく上で重要な事業である。 今後も学校医・学校・保護者等相互の連携のもと生徒の健全育成のため実施する必要がある。</p>																	
（単位：円）																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源												
	17,931,000	17,453,600	310,000				17,143,600											

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																					
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																					
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																					
実施計画掲載ページ		P 17	中 事 業	中学校保健費																								
事業コード	002-001-002-00219	事 業 名	健康診断・検査等実施事業（中学校）																									
目的及び事業内容	<p>学校保健安全法に基づき、定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、生徒の健康の保持増進を図り、疾病等の早期発見に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断の実施</li> <li>・飲料水水質検査の実施</li> </ul>																											
取組実績	<p>1 健康診断検査項目及び対象学年</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>内科健診</td><td>全学年</td></tr> <tr><td>眼科健診</td><td>全学年</td></tr> <tr><td>耳鼻科健診</td><td>1年生</td></tr> <tr><td>歯科健診</td><td>全学年</td></tr> <tr><td>結核検診</td><td>全学年</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>心臓病検診</td><td>1年生</td></tr> <tr><td>尿検査</td><td>全学年</td></tr> <tr><td>貧血・脂質検査</td><td>2年生</td></tr> </tbody> </table> <p>2 飲料水水質検査項目 遊離残留塩素、色度・濁度・臭気・味、水素イオン濃度、一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、全有機炭素、鉄 学校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行った。</p>								項目	学年	内科健診	全学年	眼科健診	全学年	耳鼻科健診	1年生	歯科健診	全学年	結核検診	全学年	項目	学年	心臓病検診	1年生	尿検査	全学年	貧血・脂質検査	2年生
項目	学年																											
内科健診	全学年																											
眼科健診	全学年																											
耳鼻科健診	1年生																											
歯科健診	全学年																											
結核検診	全学年																											
項目	学年																											
心臓病検診	1年生																											
尿検査	全学年																											
貧血・脂質検査	2年生																											
成 果	<p>各健康診断・検査を行い、生徒に係る疾病等の早期発見、早期治療、生活習慣の改善を促し健康管理に努めた。 また、学校の水道水を飲料水としても利用することから、水質検査を行うことで、安全な水質環境の維持が図られた。</p> <table border="1"> <tr> <td>1 定期健康診断</td> <td>中学生</td> <td>4,125人</td> </tr> <tr> <td>心臓病検診</td> <td>1年生</td> <td>1,367人</td> </tr> </table> <p>2 飲料水水質検査 中学校 18校</p>								1 定期健康診断	中学生	4,125人	心臓病検診	1年生	1,367人														
1 定期健康診断	中学生	4,125人																										
心臓病検診	1年生	1,367人																										
成果に係る評価	<p>生徒の健康増進を図るとともに、疾病等の早期発見のため必要な事業である。 また、近年は生活習慣の乱れによる肥満の増加や生活習慣病の低年齢化など、生徒を取り巻く健康問題は多様化してきており、各種健診・検査の結果を踏まえた適切な指導のために実施することが必要となっている。</p>																											
（単位：円）																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																						
	6,949,000	6,441,076	33,000				6,408,076																					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )	

実施計画掲載ページ	P22	中 事 業	中学校教育用コンピューター関係費
-----------	-----	-------	------------------

事業コード	002-001-003-00240	事 業 名	情報教育環境整備事業（中学校）
-------	-------------------	-------	-----------------

目的及び事業内容  
国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。市内中学校の教育用コンピューターや周辺機器の更新を計る。

取組実績

中学校教育用コンピューター整備状況

整備年度	整備内容	
	教育用コンピューター	電子黒板
H21	河北地区3校： 90台	河北地区3校： 6台
	桃生地区1校： 42台	桃生地区1校： 2台
H22	河南地区2校： 90台	河南地区2校： 6台
	牡鹿地区1校： 44台	牡鹿地区1校： 3台
H24	石巻地区6校： 293台	石巻地区6校： 24台
	石巻地区3校： 118台	石巻地区3校： 9台
H25	雄勝地区2校： 20台	雄勝地区2校： 4台
	北上地区1校： 38台	北上地区1校： 2台
H26	石巻地区2校： 47台	石巻地区2校： 6台

※ 平成21年度については、緊急経済対策事業で実施  
※ 平成23年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ。

成 果

- ・生徒がICTの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。
- ・情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。
- ・各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。

成果に係る評価

- ・中学校の教育用コンピューターについては、文科省の整備基準（生徒3.6人に1台、普通教室・特別教室に校内LANの設置）を定めているが、石巻市の現状に即した有効的な整備内容を考察しながら、計画的に整備する。
- ・電子黒板等の最新のICT機器の整備については、石巻市情報教育推進委員会において、使用する教員が使いやすく、児童生徒にわかりやすい授業が展開できる製品を選定するとともに運用方法についても検討している。
- ・教職員の電子黒板等ICT機器の利活用能力の向上を図る必要がある。

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	66,560,000	66,456,601				66,456,601

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境を整える		( )	

実施計画掲載ページ	P21	中 事 業	中学校教育振興援助費
-----------	-----	-------	------------

事業コード	002-001-003-00222	事 業 名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（中学校）
-------	-------------------	-------	------------------------

目的及び事業内容  
経済的な事情により就学が困難な生徒の保護者に対し就学援助費の助成を行うとともに、特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し特別支援教育就学奨励費の助成を行うことにより、経済的な負担を軽減する。  
・就学援助費の助成  
・特別支援教育就学奨励費の助成

取組実績

1 就学援助費

認定者数	568名 / 生徒数	4,129名 (13.76%)
学用品費		10,536,091 円
校外活動費（泊無し）		93,530 円
校外活動費（泊付き）		871,251 円
通学費		0 円
新入学用品費		3,367,650 円
修学旅行費		8,511,894 円
給食費		21,443,466 円
医療費		471,340 円
計		45,295,222 円

2 特別支援教育就学奨励費

認定者数	60名 / 生徒数	4,129名 (1.45%)
学用品費		291,481 円
校外活動費（泊無し）		3,705 円
校外活動費（泊付き）		9,910 円
通学費		560,100 円
新入学用品費		82,425 円
修学旅行費		297,694 円
給食費		601,305 円
交流学習交通費		355,242 円
職場実習交通費		4,653,312 円
計		6,855,174 円

成 果

経済的な事情により就学が困難な生徒の保護者に対し就学援助費の助成、又は、特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し特別支援教育就学奨励費の助成を行うことにより、経済的な負担を軽減できた。

成果に係る評価

就学援助費の助成、又は、特別支援教育就学奨励費の助成により、生徒の就学機会に寄与することができた。  
今後とも経済的な事情により就学が困難な生徒の保護者や特別支援学級へ就学する生徒の保護者への支援を継続する必要がある。

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	55,341,000	52,150,396	3,780,000			48,370,396

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																																				
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																																				
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )																																				
実施計画掲載ページ	P 22		中 事 業	中学校図書整備事業費																																							
事業コード	002-001-003-00239		事 業 名	学校図書整備事業（中学校）																																							
目的及び事業内容	<p>全国的な傾向である小中学生の読書離れが進む中、文部科学省では子どもの読書活動の推進や学校教育における言語力の涵養に資するためには、学校図書館の充実が必要であるとの認識に基づき、平成24年度から平成28年度までの5年間を新たな「学校図書館図書整備5カ年計画」として策定し、整備を推進している。本市も学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童生徒の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るために、市内小中学校の学校図書を整備するもの。</p>																																										
取組実績	<p>市内全ての中学校において、学校図書館標準書数に対する充足率が100%となることを目標とし、低充足率の学校に予算を重点配分したことによる購入のほか、厚意での図書の寄附による整備により学校図書の充実を図った。 平成26年度は、図書購入予算の減額により整備冊数が減少した。</p> <p>&lt;中学校図書の整備冊数&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,475冊</td> <td>7,832冊</td> <td>17,497冊</td> <td>12,477冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 寄贈含む。</p>								H23	H24	H25	H26	10,475冊	7,832冊	17,497冊	12,477冊																											
	H23	H24	H25	H26																																							
10,475冊	7,832冊	17,497冊	12,477冊																																								
成 果	<p>学校図書の整備充実を図り、学習活動に積極的に活用することにより学習効果が図られ、生徒が自ら進んで言葉を選び、感性・表現力・創造力等の生きる力がより育成された。 充足率は上昇しているものの、図書の老朽化による廃棄のため、前年よりも充足率が減少している学校があった。</p> <p>&lt;中学校図書充足率達成状況&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>達成率</th> <th>平成23年度末</th> <th>平成24年度末</th> <th>平成25年度末</th> <th>平成26年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%以上 (A)</td> <td>1校</td> <td>2校</td> <td>3校</td> <td>3校</td> </tr> <tr> <td>75%以上-100%未満</td> <td>5校</td> <td>4校</td> <td>5校</td> <td>7校</td> </tr> <tr> <td>50%以上-75%未満</td> <td>12校</td> <td>12校</td> <td>9校</td> <td>6校</td> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>3校</td> <td>3校</td> <td>3校</td> <td>4校</td> </tr> <tr> <td>合計 (B)</td> <td>21校</td> <td>21校</td> <td>20校</td> <td>20校</td> </tr> <tr> <td>100%以上達成校の割合 (A/B)</td> <td>4.76%</td> <td>9.52%</td> <td>15.00%</td> <td>15.00%</td> </tr> </tbody> </table>								達成率	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	100%以上 (A)	1校	2校	3校	3校	75%以上-100%未満	5校	4校	5校	7校	50%以上-75%未満	12校	12校	9校	6校	50%未満	3校	3校	3校	4校	合計 (B)	21校	21校	20校	20校	100%以上達成校の割合 (A/B)	4.76%	9.52%	15.00%	15.00%
達成率	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末																																							
100%以上 (A)	1校	2校	3校	3校																																							
75%以上-100%未満	5校	4校	5校	7校																																							
50%以上-75%未満	12校	12校	9校	6校																																							
50%未満	3校	3校	3校	4校																																							
合計 (B)	21校	21校	20校	20校																																							
100%以上達成校の割合 (A/B)	4.76%	9.52%	15.00%	15.00%																																							
成果に係る評価	<p>学校図書を学習活動に積極的に活用し、学習効果の向上を図るには、生徒の課題解決に沿った図書が整備充実され、いつでも気軽に利用できるような環境を整えることが必要である。学校図書整備はその基本となる事業であり、今後とも読書環境の整備に努めたい。 渡波中、雄勝中については、仮設校舎、間借り校舎であり、設置スペースから図書の充足率が伸びていない。学校再建に合わせ、充足率の向上を図りたい。</p>																																										
(単位：円)																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
	19,000,000	18,526,905	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	4,493,000	14,033,905																																			

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )							
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )							
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )							
実施計画掲載ページ	P 25		中 事 業	桃生中学校水泳プール改築事業費										
事業コード	002-001-003-00253		事 業 名	桃生中学校水泳プール改築事業										
目的及び事業内容	<p>【目的】 本校の水泳プールは、昭和46年度に設置されたものであり設置後43年以上経過し、施設の老朽化や給排水設備の腐食化が進み、応急的な修繕やメンテナンスによる維持管理が困難な状況になっているため、プール施設全面の改築工事を必要とする。 【事業内容】 水泳プール改築工事</p>													
取組実績	<p>次のとおり、本事業を実施した。 平成26年度 水泳プール改築工事完了</p>													
成 果	<p>水泳プール改築工事を実施し、本事業の目的が達成された。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度</td> <td>実施設計・地質調査</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>改築工事</td> </tr> </tbody> </table>								区分	内容	平成25年度	実施設計・地質調査	平成26年度	改築工事
区分	内容													
平成25年度	実施設計・地質調査													
平成26年度	改築工事													
成果に係る評価	<p>平成26年度に計画どおり、水泳プール改築工事を実施し、本事業の目的が達成された。</p>													
(単位：円)														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
	177,857,200	176,677,520	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	16,740,000	151,800,000	8,137,520					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	( )																
	3 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )																
実施計画掲載ページ		P 26	中 事 業	中学校施設防水改修等事業費																			
事業コード		002-001-003-00258	事 業 名	中学校施設防水改修等事業〔地域の元気臨時交付金〕																			
目的及び事業内容		<p>【目的】 老朽化により雨漏りや雨の吹き込みが著しい学校施設について、防水対策の改修工事を実施し、児童生徒の学習活動に支障をきたさないよう整備を進める。</p> <p>【事業内容】 防水改修等工事</p>																					
取組実績		<p>平成26年度の本事業実施中学校 飯野川中学校 屋内運動場防水改修等工事</p>																					
成 果		<p>平成26年度 飯野川中学校屋内運動場の防水改修等工事を実施した。 平成26年度に学校施設の状況を調査し、年次計画を作成し、「防水改修等事業」から「老朽化対策事業」として総合計画に位置づけした。「防水改修等事業」としては、平成26年度をもって終了とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">内容</th> <th colspan="3">成果指標</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>飯野川中屋体</td> <td>1校</td> <td>1校</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							区分	内容	成果指標			備考	目標値	実績値	達成率等	H26	飯野川中屋体	1校	1校	100%	
区分	内容	成果指標			備考																		
		目標値	実績値	達成率等																			
H26	飯野川中屋体	1校	1校	100%																			
成果に係る評価		平成26年度 飯野川中学校屋内運動場の防水改修等工事を実施し、目的を達成することができた。																					
(単位：円)																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
	30,516,800	30,509,410			30,466,800	42,610																	

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( )	
	3 項	中学校費		第 節			( )	
	3 目	学校建設費		( )			( )	
実施計画掲載ページ			中 事 業	特別支援教育共同実習所建設事業費				
事業コード			事 業 名	特別支援教育共同実習所建設事業				
目的及び事業内容		<p>老朽化した特別支援教育共同実習所を改築し、支援を要する生徒の安全の確保と教育環境の整備充実を図る。また、建設期間中においては、仮設特別支援教育共同実習所にて、継続して実習を実施する。</p>						
取組実績		<p>特別支援教育共同実習所建設事業</p> <p>1 建設工事費（備品購入費含む。） 325,330,261円</p> <p>2 各種面積  (1) 建築面積 218.94㎡  (2) 延床面積 586.30㎡ (1F 196.02㎡、2F 194.26㎡、3F 196.02㎡)</p> <p>3 施設概要  (1) 場 所 石巻市東中里3丁目3番1号（石巻市立住吉中学校敷地内）  (2) 施設概要 1F 実習室1、焼成室  2F 事務室、情報技術室  3F 実習室2</p>						
成 果		<p>特別支援教育共同実習所建設のための地質調査業務及び設計業務がH24年度に完了し、H25年度から仮設特別支援教育共同実習所での実習を開始し、また各種建設工事が進められ、H26年10月に施設が完成した。 施設完成後、備品購入などの開設準備を進め、H27年1月から新施設において、実習を開始した。</p>						
成果に係る評価		関係課と連携しながら、特別支援教室共同実習所建設事業を推進し、H26年度中に開設することができた。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	191,456,150	188,557,661				188,557,661		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																														
	3 項	中学校費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる																														
	4 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																														
実施計画掲載ページ	P 188		中 事 業	被災生徒通学支援事業費																																	
事業コード	004-101-001-00480		事 業 名	通学支援事業（中学校）																																	
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった生徒、学区外の仮設住宅等に入居し指定校まで遠距離通学となった生徒及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する生徒に対し、スクールバス等の運行による通学支援や公共交通機関の利用に係る負担額への助成を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代替え校スクールバス等の運行</li> <li>・仮設住宅スクールバス等の運行</li> <li>・通学路安全対策スクールバス等の運行</li> <li>・通学路安全対策補助金の交付</li> </ul>																																				
取組実績	<p>東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった生徒、学区外の仮設住宅等に入居し指定校まで遠距離通学となった生徒及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する生徒に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施した。</p> <p>(支援実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替え校スクールバス等</td> <td>4校</td> <td>285人</td> <td>94,559,300 円</td> </tr> <tr> <td>仮設住宅スクールバス等</td> <td>12校</td> <td>190人</td> <td>81,521,335 円</td> </tr> <tr> <td>通学路安全対策バス</td> <td>1校</td> <td>54人</td> <td>18,225,000 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>194,305,635 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(支援状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>状 況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>渡波中学校</td> <td>仮設校舎（稲井小学校）へスクールバス運行</td> </tr> <tr> <td>河北中学校</td> <td>旧大川中学校の学区の生徒を河北中学校へスクールタクシー運行</td> </tr> <tr> <td>雄勝中学校</td> <td>代替え校（宮城県石巻北高等学校飯野川校）へスクールタクシー運行</td> </tr> <tr> <td>湊中学校</td> <td>通学路安全対策のためスクールバス運行</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	学校数	対象人数	金 額	代替え校スクールバス等	4校	285人	94,559,300 円	仮設住宅スクールバス等	12校	190人	81,521,335 円	通学路安全対策バス	1校	54人	18,225,000 円	計	—	—	194,305,635 円	学校名	状 況	渡波中学校	仮設校舎（稲井小学校）へスクールバス運行	河北中学校	旧大川中学校の学区の生徒を河北中学校へスクールタクシー運行	雄勝中学校	代替え校（宮城県石巻北高等学校飯野川校）へスクールタクシー運行	湊中学校	通学路安全対策のためスクールバス運行
	区 分	学校数	対象人数	金 額																																	
	代替え校スクールバス等	4校	285人	94,559,300 円																																	
仮設住宅スクールバス等	12校	190人	81,521,335 円																																		
通学路安全対策バス	1校	54人	18,225,000 円																																		
計	—	—	194,305,635 円																																		
学校名	状 況																																				
渡波中学校	仮設校舎（稲井小学校）へスクールバス運行																																				
河北中学校	旧大川中学校の学区の生徒を河北中学校へスクールタクシー運行																																				
雄勝中学校	代替え校（宮城県石巻北高等学校飯野川校）へスクールタクシー運行																																				
湊中学校	通学路安全対策のためスクールバス運行																																				
成 果	<p>東日本大震災により学校が被災したため、代替え校又は仮設校舎への通学が必要となった生徒、学区外の仮設住宅等に入居し指定校まで遠距離通学となった生徒及び被災した通学路の危険箇所の安全対策として対象となる地区から通学する生徒に対し、スクールバス等の運行による通学支援を実施したことにより、安全かつ安心して通学できる環境を提供することができた。</p>																																				
成果に係る評価	<p>生徒の安全・安心を図るために継続が求められる事業である。          今後は、学校施設の復旧や被災者の再建状況等を踏まえながら事業を継続する必要がある。</p>																																				
(単位：円)																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	200,175,000	194,305,635	186,847,155			7,458,480																															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																			
	3 項	中学校費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる																			
	4 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																			
実施計画掲載ページ	P 189		中 事 業	被災生徒就学支援事業費																						
事業コード	004-101-001-00481		事 業 名	被災生徒就学支援事業（中学校）																						
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により被災し、就学が困難となった生徒の保護者に対し、就学援助費の助成を行うことにより、生徒の就学の機会を確保する。          (支給対象者)          ・住居の被害状況が半壊以上の判定を受けた世帯          ・世帯収入が著しく減少した世帯</p>																									
取組実績	1 就学援助費																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">認定者数 1,361名 / 生徒数 4,129名 (32.96%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学用品費</td> <td>32,279,890 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（泊無し）</td> <td>2,316,232 円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（泊付き）</td> <td>434,167 円</td> </tr> <tr> <td>通学費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>新入学用品費</td> <td>10,197,150 円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>29,202,539 円</td> </tr> <tr> <td>給食費</td> <td>65,059,267 円</td> </tr> <tr> <td>医療費</td> <td>470,450 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>139,959,695 円</td> </tr> </tbody> </table>							認定者数 1,361名 / 生徒数 4,129名 (32.96%)		学用品費	32,279,890 円	校外活動費（泊無し）	2,316,232 円	校外活動費（泊付き）	434,167 円	通学費	0 円	新入学用品費	10,197,150 円	修学旅行費	29,202,539 円	給食費	65,059,267 円	医療費	470,450 円	計
認定者数 1,361名 / 生徒数 4,129名 (32.96%)																										
学用品費	32,279,890 円																									
校外活動費（泊無し）	2,316,232 円																									
校外活動費（泊付き）	434,167 円																									
通学費	0 円																									
新入学用品費	10,197,150 円																									
修学旅行費	29,202,539 円																									
給食費	65,059,267 円																									
医療費	470,450 円																									
計	139,959,695 円																									
成 果	<p>東日本大震災により被災し、就学が困難となった生徒の保護者に対し就学援助費を支給することにより、生徒の就学の機会を確保することができた。</p>																									
成果に係る評価	<p>就学援助費の助成により、被災した生徒の就学機会に寄与することができた。          今後も東日本大震災により被災し、経済的な事情により就学が困難な生徒の保護者への支援を継続する必要がある。</p>																									
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	143,017,000	139,959,695	139,959,695																							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )											
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )											
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )											
実施計画掲載ページ		P 17	中 事 業	高等学校保健費														
事業コード	002-001-002-00221	事 業 名	学校医・薬剤師配置事業（高等学校）															
目的及び事業内容	<p>学校保健安全法に基づき、各学校に学校医等を配置し、定期健診、健康相談及び衛生点検等を実施することにより、生徒に係る疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校医の配置</li> <li>・学校薬剤師の配置</li> </ul>																	
取組実績	<p>1 学校医の配置 市立高等学校2校に、学校医を委嘱（内科、眼科、耳鼻科、歯科）し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱した学校医の人数</li> </ul> <table border="1"> <tr><td>内 科 医</td><td>2 人</td></tr> <tr><td>眼 科 医</td><td>1 人</td></tr> <tr><td>耳 鼻 科 医</td><td>2 人</td></tr> <tr><td>歯 科 医</td><td>2 人</td></tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 市立高等学校2校に、学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱した学校薬剤師の人数</li> </ul> <table border="1"> <tr><td>薬 剤 師</td><td>1 人</td></tr> </table>								内 科 医	2 人	眼 科 医	1 人	耳 鼻 科 医	2 人	歯 科 医	2 人	薬 剤 師	1 人
内 科 医	2 人																	
眼 科 医	1 人																	
耳 鼻 科 医	2 人																	
歯 科 医	2 人																	
薬 剤 師	1 人																	
成 果	<p>1 定期健康診断等の結果に基づき、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、生徒の健全な育成や健康の保持、増進が図られた。</p> <p>2 学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p>																	
成果に係る評価	<p>学校に学校医等を配置し、定期健診、健康相談及び衛生点検等を実施することについては、生徒に対して的確な予防指導を行っていく上で重要な事業である。 今後も学校医・学校・保護者等相互の連携のもと生徒の健全育成のため実施する必要がある。</p>																	
(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳													
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
	2,158,000		2,139,360					2,139,360										

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																			
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																			
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																			
実施計画掲載ページ		P 17	中 事 業	高等学校保健費																						
事業コード	002-001-002-00219	事 業 名	健康診断・検査等実施事業（高等学校）																							
目的及び事業内容	<p>学校保健安全法に基づき、定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、生徒の健康の保持増進を図り、疾病等の早期発見に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断の実施</li> <li>・飲料水水質検査の実施</li> </ul>																									
取組実績	<p>1 健康診断検査項目及び対象学年</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th>学年</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>内科健診</td><td>全学年</td></tr> <tr><td>眼科健診</td><td>全学年</td></tr> <tr><td>耳鼻科健診</td><td>1年生</td></tr> <tr><td>歯科健診</td><td>全学年</td></tr> <tr><td>結核検診</td><td>全学年</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr><th>項目</th><th>学年</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>心臓病検診</td><td>1年生</td></tr> <tr><td>尿検査</td><td>全学年</td></tr> </tbody> </table> <p>2 飲料水水質検査項目 遊離残留塩素、色度・濁度・臭気・味、水素イオン濃度、一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、全有機炭素、鉄 学校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行った。</p>								項目	学年	内科健診	全学年	眼科健診	全学年	耳鼻科健診	1年生	歯科健診	全学年	結核検診	全学年	項目	学年	心臓病検診	1年生	尿検査	全学年
項目	学年																									
内科健診	全学年																									
眼科健診	全学年																									
耳鼻科健診	1年生																									
歯科健診	全学年																									
結核検診	全学年																									
項目	学年																									
心臓病検診	1年生																									
尿検査	全学年																									
成 果	<p>各健康診断・検査を行い、生徒に係る疾病等の早期発見、早期治療、生活習慣の改善を促し健康管理に努めた。 また、学校の水道水を飲料水としても利用することから、水質検査を行うことで、安全な水質環境の維持が図られた。</p> <p>1 定期健康診断 高校生 618人 心臓病検診 1年生 213人</p> <p>2 飲料水水質検査 高等学校 2校</p>																									
成果に係る評価	<p>生活習慣の乱れによる肥満の増加や生活習慣病の低年齢化など、生徒を取り巻く健康問題は多様化してきており、今後も継続して各種健診・検査の結果を踏まえ、適切な教育、指導を実施していくことが必要不可欠である。</p>																									
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																					
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	1,285,000		1,039,188					1,039,188																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる		( )	
実施計画掲載ページ	P 22		中 事 業	高等学校教育用コンピューター関係費				
事業コード	002-001-003-00240		事 業 名	情報教育環境整備事業（高等学校）				
目的及び事業内容	国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。市内高等学校の教育用コンピューターや周辺機器の更新を計る。							
取組実績	高等学校教育用コンピューター整備状況							
	整備年度		整備内容					
		教育用コンピューター		電子黒板				
H17		市立女子高： 58台						
H19		市立女子商： 147台						
H26		市立女子商： 86台		市立女子高(桜坂高)： 17台				
※ 平成20～25年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ。 ※ 教育用コンピューターについては、平成27年3月に市立女子高（桜坂高）へ移設。 ※ 電子黒板17台については、高等学校統合整備事業費（備品購入費）で整備。								
成 果	・生徒が I T の活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。 ・情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。 ・各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。							
成果に係る評価	・高等学校の教育用コンピューターについては、文科省の整備基準（生徒3.6人に1台、普通教室・特別教室に校内LANの設置）を定めているが、石巻市の現状に即した有効的な整備内容を考察しながら、計画的に整備する。 ・電子黒板等の最新の I C T 機器の整備については、石巻市情報教育推進委員会において、使用する教員が使いやすく、児童生徒にわかりやすい授業が展開できる製品を選定するとともに運用方法についても検討している。 ・教職員の電子黒板等 I C T 機器の利活用能力の向上を図る必要がある。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	5,328,000	5,261,664				5,261,664		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	4 項	高等学校費			( 1 )	未来の人を育てる
	3 目	東日本大震災関係費			( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ	P 187		中 事 業	高等学校統合整備事業費		
事業コード	004-101-001-00471		事 業 名	市立高等学校統合事業〔復興交付金〕		
目的及び事業内容	【目的】平成24年2月に策定した「石巻市立高等学校統合事業基本計画」に基づき、市立高等学校2校を統合し、女子高等学校を新設する。 【事業内容】施設整備工事等					
取組実績	平成26年度 施設整備工事等を実施し、平成27年度に桜坂高等学校として開校した。 ※外構工事は平成27年度に実施。					
成 果	平成26年度 校舎等の建設工事を実施し、平成27年度に桜坂高等学校として開校することができた。 ※外構工事は平成27年度に実施。					
		区分		内容		
		平成23年度		計画策定		
		平成24年度		各種設計		
		平成25年度		仮設校舎設置・整備工事		
		平成26年度		整備工事		
		平成27年度		開校・外構工事		
成果に係る評価	平成26年度 施設整備工事等を実施し、平成27年度に桜坂高等学校として開校した。 ※外構工事は平成27年度に実施。					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	1,830,638,250	1,552,932,442			1,256,993,000	295,939,442

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	4 項	高等学校費				( 1 )	未来の人を育てる
	3 目	東日本大震災関係費				( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ		P191	中 事 業		高等学校統合事業費		
事業コード		004-101-001-00881	事 業 名		桜坂高等学校の魅力ある学校づくり事業〔復興基金〕		
目的及び事業内容		<p>【事業内容】平成27年4月に石巻市立桜坂高等学校を開校するに当たり、石巻市立高等学校統合事業基本計画（平成24年2月）に掲げている目指す学校像の達成に向けた事業を具現化するため、両校（女子高等学校、女子商業高等学校）の代表によるプロジェクト委員会を立ち上げ検討を続けるとともに、アドバイザー事業を実施し外部からのアドバイスを受ける。</p> <p>【事業目的】桜坂高等学校の教育方針を明確にして、特色ある教育活動を取り入れることで、石巻市の未来を担う人材の育成・輩出を目指すとともに、募集定員を確保する。</p>					
取組実績		<p>1 アドバイザー事業 計7回実施</p> <p>2 桜坂高等学校学校説明会 講演会 1回実施（講師 有森裕子）</p> <p>3 進路講座 1回実施  (1)公務員試験講座  (2)コミュニケーション・マナー教室  (3)進学希望者研修会  (4)小論文指導  (5)公務員試験講座</p> <p>4 小笠原流礼法指導 1回実施</p> <p>5 学校案内印刷 3,500部 各中学校等に配付</p>					
成 果		<p>1 アドバイザーの導入は、桜坂高等学校の教育活動等を両校及び開設準備室で検討する際に効果的であった。</p> <p>2 桜坂高等学校学校説明会を開催したところ約290人の中学生及び保護者が参加し、新設する桜坂高等学校を十分にアピールできた。オリンピックマラソンのメダリストである有森裕子氏の講演には、これからの時代を強く生きる女性像が含まれ、参加した中学生は自らの進路を積極的に開拓することを学んだ。</p> <p>3 進路講座の実施は、桜坂高等学校の「教育の三本柱」の一つである「学力保証」の具現化に向けた、最初の施策（取り組み）となった。</p> <p>4 同じく三本柱の一つである「品格教育」の一環として導入した「小笠原流礼法指導」は、来年度の「礼法指導」の推進・充実につながるものとなった。</p> <p>5 学校案内を印刷し、学校説明会及び中学校訪問等で配付し、桜坂高等学校を市内（県内）にアピールできた。</p>					
成果に係る評価		<p>・本事業は、平成27年4月開校に向けた「石巻市立桜坂高等学校」の教育活動等の検討及び学校のPR並びに両校統合に向けた作業に成果があったと評価できる。</p> <p>・平成27年度は、本事業を活用した桜坂高等学校の「教育の三本柱（品格教育、キャリア教育、学力保証）」の具体的な取り組み、より一層の推進・充実努める。</p>					
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	8,838,000		6,393,683			2,410,876	3,982,807

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	復興計画	( )	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち										
	5 項	幼稚園費				第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する										
	1 目	幼稚園費				( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ										
実施計画掲載ページ		P17	中 事 業		幼稚園保健費												
事業コード		002-001-002-00221	事 業 名		学校医・薬剤師配置事業（幼稚園）												
目的及び事業内容		<p>学校保健安全法に基づき、各幼稚園に幼稚園医等を配置し、定期健診、健康相談及び衛生点検等を実施することにより、幼児に係る疾病等の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <p>・幼稚園医の配置  ・幼稚園薬剤師の配置</p>															
取組実績		<p>1 幼稚園医の配置  市立幼稚園5園に、幼稚園医を委嘱（内科、眼科、耳鼻科、歯科）し、定期健康診断や健康相談などの健診業務を実施</p> <p>・委嘱した幼稚園医の人数</p> <table border="1"> <tr><td>内 科 医</td><td>4 人</td></tr> <tr><td>眼 科 医</td><td>3 人</td></tr> <tr><td>耳 鼻 科 医</td><td>3 人</td></tr> <tr><td>歯 科 医</td><td>4 人</td></tr> </table> <p>2 幼稚園薬剤師の配置  市立幼稚園5園に、薬剤師を委嘱し、飲料水の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施</p> <p>・委嘱した幼稚園薬剤師の人数</p> <table border="1"> <tr><td>薬 剤 師</td><td>4 人</td></tr> </table>						内 科 医	4 人	眼 科 医	3 人	耳 鼻 科 医	3 人	歯 科 医	4 人	薬 剤 師	4 人
内 科 医	4 人																
眼 科 医	3 人																
耳 鼻 科 医	3 人																
歯 科 医	4 人																
薬 剤 師	4 人																
成 果		<p>1 定期健康診断等の結果に基づき、保護者、幼稚園に対して的確な指導と助言が行われ、幼児の健全な育成や健康の保持、増進が図られた。</p> <p>2 幼稚園内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された幼稚園環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p>															
成果に係る評価		<p>幼稚園に園医等を配置し、定期健診、健康相談及び衛生点検等を実施することについては、幼児に対して的確な予防指導を行っていく上で重要な事業である。</p> <p>今後も園医・幼稚園・保護者等相互の連携のもと園児の健全育成のため実施する必要がある。</p>															
（単位：円）																	
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源											
	2,763,000		2,761,560				2,761,560										



予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																			
	5 項	幼稚園費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																			
	1 目	幼稚園費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																			
実施計画掲載ページ		P17	中 事 業	幼稚園保健費																						
事業コード		002-001-002-00219	事 業 名	健康診断・検査等実施事業（幼稚園）																						
目的及び事業内容		<p>学校保健安全法に基づき、定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、幼児の健康の保持増進を図り、疾病等の早期発見に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断の実施</li> <li>・飲料水水質検査の実施</li> </ul>																								
取組実績		<p>1 健康診断検査項目及び対象学年</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科健診</td> <td>全幼児</td> </tr> <tr> <td>眼科健診</td> <td>全幼児</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科健診</td> <td>全幼児</td> </tr> <tr> <td>歯科健診</td> <td>全幼児</td> </tr> <tr> <td>結核検診</td> <td>全幼児</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尿検査</td> <td>全幼児</td> </tr> <tr> <td>寄生虫卵検査</td> <td>全幼児</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 飲料水水質検査項目</p> <p>遊離残留塩素、色度・濁度・臭気・味、水素イオン濃度、一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、全有機炭素、鉄</p> <p>幼稚園の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行った。</p>							項目	学年	内科健診	全幼児	眼科健診	全幼児	耳鼻科健診	全幼児	歯科健診	全幼児	結核検診	全幼児	項目	学年	尿検査	全幼児	寄生虫卵検査	全幼児
項目	学年																									
内科健診	全幼児																									
眼科健診	全幼児																									
耳鼻科健診	全幼児																									
歯科健診	全幼児																									
結核検診	全幼児																									
項目	学年																									
尿検査	全幼児																									
寄生虫卵検査	全幼児																									
成 果		<p>各健康診断・検査を行い、幼児に係る疾病等の早期発見、早期治療、生活習慣の改善を促し健康管理に努めた。</p> <p>また、幼稚園の水道水を飲料水としても利用することから、水質検査を行うことで、安全な水質環境の維持が図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>1 定期健康診断</td> <td>幼稚園児</td> <td>203人</td> </tr> <tr> <td>2 飲料水水質検査</td> <td>幼稚園</td> <td>4園</td> </tr> </table>							1 定期健康診断	幼稚園児	203人	2 飲料水水質検査	幼稚園	4園												
1 定期健康診断	幼稚園児	203人																								
2 飲料水水質検査	幼稚園	4園																								
成果に係る評価		<p>幼児の健康増進を図るとともに、疾病等の早期発見のため必要な事業である。</p> <p>また、近年は生活習慣の乱れによる肥満の増加や生活習慣病の低年齢化など、幼児を取り巻く健康問題は多様化してきており、各種健診・検査の結果を踏まえた適切な指導のために実施することが必要となっている。</p>																								
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	382,000	195,118				195,118																				

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																									
	5 項	幼稚園費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																									
	1 目	幼稚園費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																									
実施計画掲載ページ		P18	中 事 業	私立幼稚園就園奨励費																												
事業コード		002-001-002-00223	事 業 名	私立幼稚園就園奨励費助成事業																												
目的及び事業内容		<p>私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者の中で、所得が低い保護者及び多子世帯の保護者に対して私立幼稚園が行う入園料、保育料の減免措置に対して助成を行うことにより、義務教育就学前における幼児教育の振興を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立幼稚園就園奨励費の助成</li> </ul>																														
取組実績		<p>市内に居住している園児の入園料・保育料の減免措置を行っている私立幼稚園に対し、一部国の補助を受け補助金を交付した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象人数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活保護世帯</td> <td>1人</td> <td>207,000円</td> </tr> <tr> <td>市民税非課税世帯</td> <td>74人</td> <td>14,740,400円</td> </tr> <tr> <td>市民税所得割額非課税世帯</td> <td>96人</td> <td>19,391,600円</td> </tr> <tr> <td>市民税所得割額 77,100円以下の世帯</td> <td>220人</td> <td>23,171,300円</td> </tr> <tr> <td>市民税所得割額211,200円以下の世帯</td> <td>438人</td> <td>30,786,000円</td> </tr> <tr> <td>上記以外の世帯</td> <td>57人</td> <td>5,903,400円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>886人</td> <td>94,199,700円</td> </tr> </tbody> </table>							区分	対象人数	補助金額	生活保護世帯	1人	207,000円	市民税非課税世帯	74人	14,740,400円	市民税所得割額非課税世帯	96人	19,391,600円	市民税所得割額 77,100円以下の世帯	220人	23,171,300円	市民税所得割額211,200円以下の世帯	438人	30,786,000円	上記以外の世帯	57人	5,903,400円	合計	886人	94,199,700円
区分	対象人数	補助金額																														
生活保護世帯	1人	207,000円																														
市民税非課税世帯	74人	14,740,400円																														
市民税所得割額非課税世帯	96人	19,391,600円																														
市民税所得割額 77,100円以下の世帯	220人	23,171,300円																														
市民税所得割額211,200円以下の世帯	438人	30,786,000円																														
上記以外の世帯	57人	5,903,400円																														
合計	886人	94,199,700円																														
成 果		<p>私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者の中で、所得が低い保護者及び多子世帯の保護者に対する入園料、保育料の減免措置に対して助成することにより、就園する保護者の経済的負担を軽減し、義務教育就学前における幼児教育の振興に資することができた。</p> <p>(補助内訳)</p> <p>就園奨励費補助金</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象人数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>785人</td> <td>91,009,800円</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>776人</td> <td>82,860,900円</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>886人</td> <td>94,199,700円</td> </tr> </tbody> </table>							区分	対象人数	補助金額	H24	785人	91,009,800円	H25	776人	82,860,900円	H26	886人	94,199,700円												
区分	対象人数	補助金額																														
H24	785人	91,009,800円																														
H25	776人	82,860,900円																														
H26	886人	94,199,700円																														
成果に係る評価		<p>義務教育就学前における幼児教育の普及充実と保護者の経済的負担を軽減することを目的とした事業であり、今後も事業を継続する必要がある。</p>																														
(単位：円)																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
	94,494,000	94,199,700	38,649,300			55,550,400																										

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																							
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )																							
	1 目	幼稚園費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )																							
実施計画掲載ページ	P 18		中 事 業	私立幼稚園運営費助成費																										
事業コード	002-001-002-00224		事 業 名	私立幼稚園運営費助成事業																										
目的及び事業内容	<p>市内で開園している私立幼稚園の設置者に対し、運営費の一部を助成することにより、義務教育就学前の幼児教育振興に寄与している私立幼稚園の健全な経営及び保護者の負担の軽減を図る。</p> <p>・私立幼稚園運営費の助成          幼稚園割 1園 160,000円          職員割 1人 30,000円          園児割 1人 1,200円</p>																													
取組実績	<p>市内で開園している私立幼稚園設置者に対し、運営費の一部の助成を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>運営費補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>穀町幼稚園</td><td>942,400円</td></tr> <tr><td>法山寺幼稚園</td><td>654,400円</td></tr> <tr><td>石巻カトリック幼稚園</td><td>802,000円</td></tr> <tr><td>石巻みずほ幼稚園</td><td>899,200円</td></tr> <tr><td>石巻みずほ第二幼稚園</td><td>347,200円</td></tr> <tr><td>ひばり幼稚園</td><td>1,352,800円</td></tr> <tr><td>栄光幼稚園</td><td>449,200円</td></tr> <tr><td>長浜幼稚園</td><td>265,600円</td></tr> <tr><td>万石浦幼稚園</td><td>566,800円</td></tr> <tr><td>合 計</td><td>6,279,600円</td></tr> </tbody> </table>								区分	運営費補助金	穀町幼稚園	942,400円	法山寺幼稚園	654,400円	石巻カトリック幼稚園	802,000円	石巻みずほ幼稚園	899,200円	石巻みずほ第二幼稚園	347,200円	ひばり幼稚園	1,352,800円	栄光幼稚園	449,200円	長浜幼稚園	265,600円	万石浦幼稚園	566,800円	合 計	6,279,600円
区分	運営費補助金																													
穀町幼稚園	942,400円																													
法山寺幼稚園	654,400円																													
石巻カトリック幼稚園	802,000円																													
石巻みずほ幼稚園	899,200円																													
石巻みずほ第二幼稚園	347,200円																													
ひばり幼稚園	1,352,800円																													
栄光幼稚園	449,200円																													
長浜幼稚園	265,600円																													
万石浦幼稚園	566,800円																													
合 計	6,279,600円																													
成 果	<p>義務教育就学前の幼児教育を担う私立幼稚園の健全な運営及び保護者の負担軽減に資することができた。</p> <p>(助成内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>運営費補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>6,530,800円</td></tr> <tr><td>H25</td><td>6,228,000円</td></tr> <tr><td>H26</td><td>6,279,600円</td></tr> </tbody> </table>								区分	運営費補助金	H24	6,530,800円	H25	6,228,000円	H26	6,279,600円														
区分	運営費補助金																													
H24	6,530,800円																													
H25	6,228,000円																													
H26	6,279,600円																													
成果に係る評価	<p>本市の幼児教育の推進を図ることを目的とした事業であり、義務教育就学前の幼児教育振興に寄与している私立幼稚園の健全な運営及び保護者の負担軽減を図るため、今後も継続する必要がある。</p>																													
予算の執行状況	(単位：円)																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
	6,279,600	6,279,600				6,279,600																								

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる												
	5 項	幼稚園費		第 節			( 1 )	未来の人を育てる												
	2 目	東日本大震災関係費		( )			( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興												
実施計画掲載ページ	P 188		中 事 業	被災園児通園支援事業費																
事業コード	004-101-001-00480		事 業 名	通学支援事業(幼稚園)																
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により幼稚園が被災したため、代替え園への通園が必要となった幼児に対し、スクールバスの運行による通園支援を実施することにより、安全かつ安心して通園できる仕組みを提供する。</p> <p>・代替え園スクールバス等の運行</p>																			
取組実績	<p>東日本大震災により幼稚園が被災したため、代替え園への通学が必要となった幼児に対し、スクールバスの運行による通学支援を実施した。</p> <p>(支援実績)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>幼稚園数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スクールバス</td> <td>1園</td> <td>7人</td> <td>6,204,600円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(支援状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>幼稚園名</th> <th>状 況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>湊幼稚園</td> <td>代替え園(住吉幼稚園)へスクールバス運行</td> </tr> </tbody> </table>								区分	幼稚園数	対象人数	金額	スクールバス	1園	7人	6,204,600円	幼稚園名	状 況	湊幼稚園	代替え園(住吉幼稚園)へスクールバス運行
区分	幼稚園数	対象人数	金額																	
スクールバス	1園	7人	6,204,600円																	
幼稚園名	状 況																			
湊幼稚園	代替え園(住吉幼稚園)へスクールバス運行																			
成 果	<p>東日本大震災により幼稚園が被災したため、代替え園への通園が必要となった幼児に対し、スクールバスの運行による通学支援を実施したことにより、安全かつ安心して通園できる環境を提供することができた。</p>																			
成果に係る評価	<p>代替え園への通園が必要となった幼児の安全・安心を図ることができた。</p> <p>なお、被災し通園支援の対象となっていた「湊幼稚園」については、平成27年4月に「湊こども園」として湊地区内に移転新築したことから、通園支援事業については、平成27年3月末で終了となった。</p>																			
予算の執行状況	(単位：円)																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	6,578,000	6,204,600				6,204,600														

予算科目	10 款	教育費	総合計画	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる									
	5 項	幼稚園費			(1)	未来の人を育てる									
	2 目	東日本大震災関係費			(1)	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興									
実施計画掲載ページ	P190		中 事業	湊こども園等移転新築事業費											
事業コード	004-101-001-00587		事業名	湊こども園移転新築事業											
目的及び事業内容	<p>【目的】東日本大震災に伴う津波や地盤沈下等により壊滅的な被害を受け、現地での復旧が困難である湊こども園（湊幼稚園と湊保育所の合同保育施設）について移転新築を行う。</p> <p>【事業内容】湊こども園移転新築事業</p>														
取組実績	平成26年度 湊こども園移転新築事業が完了し、平成27年度に開園することができた。														
成 果	平成26年度 湊こども園の新築工事を実施し、平成27年度に開園することができた。														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>建設予定地の地質調査・基本設計・実施設計</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>土地造成及び新築工事</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>園舎新築工事</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>開園</td> </tr> </tbody> </table>						区分	内容	平成24年度	建設予定地の地質調査・基本設計・実施設計	平成25年度	土地造成及び新築工事	平成26年度	園舎新築工事	平成27年度
区分	内容														
平成24年度	建設予定地の地質調査・基本設計・実施設計														
平成25年度	土地造成及び新築工事														
平成26年度	園舎新築工事														
平成27年度	開園														
成果に係る評価	平成26年度 湊こども園の新築工事を実施し、平成27年度に開園し、事業を達成することができた。														
(単位：円)															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源									
	21,747,009	21,673,013	4,817,000		7,176,000	9,680,013									

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																															
	6 項	社会教育費				( )	(1)	未来の人を育てる																														
	1 目	社会教育総務費					(3)	子どものケアの実施																														
実施計画掲載ページ	P199		中 事業	社会教育事務費																																		
事業コード	004-103-002-00527		事業名	家庭教育支援事業																																		
目的及び事業内容	<p>子育てサポーター及び子育てサポーターリーダーなどの身近な人々による「家庭教育支援チーム」を組織し、孤立しがちな保護者や仕事で忙しい保護者など、地域とのコミュニケーションや学習の機会等になかなか参加できない保護者や家庭に対する支援を行う。</p>																																					
取組実績	<p>1 仮設団地集会所における親子参加型の活動（子育てサロン）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>実施期間</th> <th>実施回数</th> <th colspan="2">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>H24.4～H25.3</td> <td>20回</td> <td>延べ224組</td> <td>延べ530人</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>H25.4～H26.3</td> <td>23回</td> <td>延べ279組</td> <td>延べ604人</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>H26.4～H27.3</td> <td>22回</td> <td>延べ317組</td> <td>延べ734人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 親の学び講座（母親対象）ノーバディーズ・パーフェクトプログラム研修他</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>3回</td> <td>44人</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>7回</td> <td>92人</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>38回</td> <td>252人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 東部教育事務所管内協働教育研修会 参加者数 9人（家庭教育支援チーム9人 ※うち実践発表者3名）</p> <p>4 子育てサポーターリーダー養成講座（家庭教育プログラム「親のみちしるべ」ファシリテーター養成） 受講者 4名（家庭教育支援チーム4名）</p>						年 度	実施期間	実施回数	参加人数		H24	H24.4～H25.3	20回	延べ224組	延べ530人	H25	H25.4～H26.3	23回	延べ279組	延べ604人	H26	H26.4～H27.3	22回	延べ317組	延べ734人	年 度	実施回数	参加人数	H24	3回	44人	H25	7回	92人	H26	38回	252人
	年 度	実施期間	実施回数	参加人数																																		
H24	H24.4～H25.3	20回	延べ224組	延べ530人																																		
H25	H25.4～H26.3	23回	延べ279組	延べ604人																																		
H26	H26.4～H27.3	22回	延べ317組	延べ734人																																		
年 度	実施回数	参加人数																																				
H24	3回	44人																																				
H25	7回	92人																																				
H26	38回	252人																																				
成 果	<p>被災により多くの社会教育施設が使用不能であるため、仮設住宅団地の集会所を主な会場として平成23年9月から親子参加型の活動を継続してきた。</p> <p>この結果、家庭教育支援チームの活動が徐々に市民に知られるようになり、参加する親子が着実に増加してきている。また、市内のNPOや子育てサークルとの連携により内容も充実した。</p> <p>親の学び講座においては受講生全員が「プログラムをととも気に入った」と評価しており、子育ての知識やスキルを習得するとともに、子育てに対する自信をつけさせることができ、母親同士の新たなコミュニケーションの形成にも役立っている。</p> <p>また、講座受講後、家庭教育支援チームに入って活動したり親の学び講座のファシリテーターの資格を取得したりして、「支援される側」から「支援する側」として活動する母親が見られるようになった。</p>																																					
成果に係る評価	平成23年9月から実施した事業であるが、家庭教育支援チームの活動が知られるようになり多くの親子が参加するようになった。また、市内のNPO及び子育てサークルとの連携により繋がりが増えたとともに、内容も充実してきている。子育て支援における新しいリーダーも育ってきている。震災により生活環境の変化等による子育ての不安をサポートするため、当事業の成果は大きい。参加者の増加に伴い、支援者の確保が課題であったが、平成26年度より教育委員会主催のサポーター研修会を開催することにより支援者の数も増加している。																																					
(単位：円)																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																
	263,003	29,894				29,894																																

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手ははぐくむまち	復興計画	( )	
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		( )	
	1 目	社会教育総務費		( 2 )	青少年を健全に育成する		( )	
実施計画掲載ページ		P 28	中 事 業	少年指導者育成費				
事業コード		002-002-002-00261	事 業 名	少年指導者育成事業				
目的及び事業内容		<p>子ども会活動等地域における望ましい体験活動の指導・支援を行う青年ボランティアとしてのジュニア・リーダー及びインリーダーの育成を通して、青少年の健全育成を図る。</p> <p>宮城県教育委員会が定める「ジュニア・リーダー初級研修内容」に準拠した研修会を開催し、ジュニア・リーダー（中学生）を養成する。受講修了者には宮城県教育委員会が発行するジュニア・リーダー手帳及び初級研修修了証を授与する。</p> <p>市内子ども会育成会等から要請を受けボランティアとして派遣、子どもたちの指導等を行う。</p>						
取組実績	1 ジュニア・リーダー育成のための研修会の実施、支援							
	(1) ジュニア・リーダー初級研修会の主催							
	No.	事業名	開催日	実施場所	修了者			
	1	初級研修会 I	7月28日(月)～30日(水)	花山少年自然の家	35人			
	(2) ジュニア・リーダー中級研修会及び上級研修会への参加支援							
	No.	事業名	開催日	実施場所	修了者			
	1	中級研修会	8月21日(木)～22日(金)	県志津川自然の家	9人			
	(3) ジュニア・リーダーのスキルアップのための研修事業参加支援及び研修機会の創出							
	No.	事業名	開催日	実施場所	参加者			
	1	ボイストレーニング	5月18日(日)	石巻中央公民館	7人			
2	合唱指導	7月12日(土)	石巻中央公民館	5人				
3	JL初級研修会事前説明	7月12日(土)	石巻中央公民館	5人				
4	初級研修会 I	7月28日(月)～30日(水)	花山青少年自然の家	5人				
5	中級研修会事前打ち合わせ1	7月26日(土)	桃生公民館	3人				
6	中級研修会事前打ち合わせ2	8月 9日(土)	桃生公民館	3人				
7	中級研修会	8月21日(木)～22日(金)	志津川自然の家	4人				
8	ジュニア・リーダー技術研修会1	11月 1日(土)～ 2日(日)	勤労青年ホーム	7人				
9	みやぎJL交流会	11月 9日(日)	中田生涯学習センター	2人				
10	指定都市JL大会仙台大会打合せ	2月 7日(土)	蛇田公民館	7人				
11	ジュニア・リーダー技術研修会2	3月21日(土)	勤労青年ホーム	7人				
12	指定都市JL大会仙台大会	3月28日(土)	泉ヶ岳自然ふれあい館	6人				
2 ジュニア・リーダーのボランティア活動支援								
市内子ども会育成会等から要請を受けボランティアとして派遣、子どもたちの指導等を行った。団体による申請数：67回 派遣したジュニア・リーダー数(延べ)：221人 会員数：71人								
成 果	ジュニア・リーダーの中心的活動である子ども会からの派遣要請は震災前より減少したが、復興支援に取り組む団体の活動や市の家庭教育支援事業等に積極的ににかかわることにより、活動内容の充実とジュニア・リーダーとしての資質向上を図ることができた。また、サークル間の交流を活発化させる場と機会を柔軟的に取り入れることで少しずつ活性化に繋がってきている。(平成26年度は女川のサークル「うみねこ」からアウトリーダーが初級研修会に参加し活動した。)							
成果に係る評価	ジュニア・リーダー活動に対する需要は、少しずつ増加してきている。サークル独自の活動に加えて、全サークルが協力して取り組む行事も計画・実行した。このような経験の積み重ねが、リーダーとしての自覚と資質向上につながり、今後の石巻のリーダーとして、成長していくことが期待できる。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	813,000	333,766				333,766		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	( )	
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ		( )	
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する		( )	
実施計画掲載ページ		P 90	中 事 業	芸術文化振興費				
事業コード		005-003-001-00272	事 業 名	青少年文化芸術鑑賞事業				
目的及び事業内容		<p>芸術鑑賞の機会に恵まれない地域の青少年に対し、優れた生の芸術を鑑賞してもらい、豊かな情操を涵養する。</p> <p>学校の総合的学習時間等を利用して、優秀な舞台芸術の鑑賞機会を提供し、感受性豊かな人間としての育成を図るために必要な事業である。</p>						
取組実績	1 巡回小劇場							
	開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数				
	9月10日	大谷地小学校	劇団芸優座 「角～いじめっこ姫の物語」	大谷地小学校(児童202名)				
	9月24日	門脇中学校	劇団芸優座 「The Last Leaf」	門脇中学校(生徒325名)				
	12月8日	東浜小学校	劇団芸優座 「角～いじめっこ姫の物語」	東浜小学校(児童23名)				
	2 青少年劇場小公演							
	開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数				
	10月29日	山下小学校	吉澤実・永田平八 「リコーダーとともに」	山下小学校(児童200名)				
	10月30日	北上小学校	吉澤実・永田平八 「リコーダーとともに」	北上小学校(児童111名)				
	10月30日	釜小学校	吉澤実・永田平八 「リコーダーとともに」	釜小学校(児童144名)				
10月31日	稲井小学校	吉澤実・永田平八 「リコーダーとともに」	稲井小学校(児童226名)					
3 文化芸術による子供の育成事業								
開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数					
9月16日	鹿妻小学校	淡路人形座「人形浄瑠璃」	鹿妻小学校(児童391名)					
9月19日	大川小学校	東京フィルハーモニー交響楽団「オーケストラ」	大川小学校(児童190名)					
9月25日	鮎川小学校	古野光昭「ジャズ」	鮎川小学校(児童 76名)					
11月4日	門脇中学校	古典空間「邦楽」	門脇中学校(生徒320名)					
12月2日	須江小学校	茂木寿哉「陶芸」	須江小学校(児童 49名)					
1月28日	開北小学校	アーツカンパニー「音楽劇」	開北小学校(児童451名)					
2月18日	大須中学校	めばえ寄席「演芸」	大須中学校(生徒 7名)					
2月19日	牡鹿中学校	めばえ寄席「演芸」	牡鹿中学校(生徒 62名)					
2月24日	大須中学校	劇団プレイバックーズ「即興劇」	大須中学校(生徒 7名)					
成 果	児童・生徒に対し、優れた生の芸術を鑑賞する機会を提供することにより、情操を養い豊かな人間形成に寄与することができた。							
成果に係る評価	巡回小劇場、青少年劇場小公演等は、宮城県教育委員会とともに主催する事業であり、経費については一部を負担するものである。質の高い芸術を小中学生へ幅広く提供するために、開催地区などに偏りが出ないように配慮しながら、今後とも継続していく。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	1,199,900	1,199,900				1,199,900		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																															
	6 項	社会教育費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる																																															
	1 目	社会教育総務費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興																																															
実施計画掲載ページ		P195	中 事 業	芸術文化振興費																																																		
事業コード		004-101-004-515	事 業 名	市民の文化芸術活動に対するサポート事業																																																		
<p>芸術文化の推進には、市民団体である文化協会と行政が協働して推進することが重要であり、その活動を通じて地域の芸術文化の発展を助長するとともに、地域文化の振興と向上に寄与する。文化協会は今後とも本市の芸術文化の推進に欠かせない民間団体である。</p>																																																						
取組実績	<p>1 石巻市文化協会の運営の支援 以下の目的のため設立した石巻市文化協会の運営を支援した。 (1) 地域の芸術文化の発展を助長するとともに、その活動を通じて地域文化の振興と向上に寄与する。 (2) 芸術文化団体相互の連絡調整を図る。 (3) 内外の優れた芸術団体の交流 (4) 歴史・伝統・文化を生かした街づくりの推進に寄与する。</p>																																																					
	<p>2 石巻市文化協会の概要 (平成26年4月1日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設立年月日</th> <th>加盟団体数</th> <th>会員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻市文化協会</td> <td>平成17年6月18日</td> <td>約180団体</td> <td>約5,800人</td> </tr> </tbody> </table>							名称	設立年月日	加盟団体数	会員数	石巻市文化協会	平成17年6月18日	約180団体	約5,800人																																							
	名称	設立年月日	加盟団体数	会員数																																																		
石巻市文化協会	平成17年6月18日	約180団体	約5,800人																																																			
<p>3 主要事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>開催期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>春の山野草展(北上)</td><td>平成26年5月5日～6日</td></tr> <tr><td>ふるさと復興支援演芸会(北上)</td><td>平成26年5月27日</td></tr> <tr><td>さつき盆栽展示会(桃生)</td><td>平成26年6月14日～15日</td></tr> <tr><td>桃生地区芸能祭(桃生)</td><td>平成26年6月15日</td></tr> <tr><td>かなん文化まつり(河南)</td><td>平成26年7月13日</td></tr> <tr><td>杉原千畝パネル展(雄勝)</td><td>平成26年7月14日～8月2日</td></tr> <tr><td>第2回おがつの芸祭鼓舞(雄勝)</td><td>平成26年8月23日</td></tr> <tr><td>篠笛教室(雄勝)</td><td>平成26年8月31日～11月9日</td></tr> <tr><td>雄勝法印神楽モスク公演(雄勝)</td><td>平成26年10月2日</td></tr> <tr><td>第20回石巻芸術文化祭(舞台公演)</td><td>平成26年10月11日～13日</td></tr> <tr><td>第7回石巻市合同文化祭(舞台公演)</td><td>平成26年10月11日～13日</td></tr> <tr><td>第18回みやぎ県民文化祭(於気仙沼市)</td><td>平成26年10月25日～26日</td></tr> <tr><td>かほく文化祭「芸能音楽祭」(河北)</td><td>平成26年10月26日</td></tr> <tr><td>かほく文化祭「作品展」(河北)</td><td>平成26年10月31日～11月3日</td></tr> <tr><td>第20回石巻芸術文化祭(展示)</td><td>平成26年11月1日～3日</td></tr> <tr><td>桃生地区文化祭・菊花展(桃生)</td><td>平成26年11月1日～2日</td></tr> <tr><td>かほく文化祭「レッツダンス大会」(河北)</td><td>平成26年11月2日</td></tr> <tr><td>かなんまつり(河南)</td><td>平成26年11月2日</td></tr> <tr><td>かほく文化祭「神楽大会」(河北)</td><td>平成26年11月3日</td></tr> <tr><td>かほく寄席(河北)</td><td>平成26年11月22日</td></tr> <tr><td>第35回宮城県運営研修会(石巻地区担当)</td><td>平成26年12月4日～5日</td></tr> <tr><td>石巻市東日本大震災追悼式典</td><td>平成27年3月11日</td></tr> <tr><td>東日本大震災追悼公演フォーレ・レクイエム</td><td>平成27年3月30日</td></tr> </tbody> </table>							事業名	開催期間	春の山野草展(北上)	平成26年5月5日～6日	ふるさと復興支援演芸会(北上)	平成26年5月27日	さつき盆栽展示会(桃生)	平成26年6月14日～15日	桃生地区芸能祭(桃生)	平成26年6月15日	かなん文化まつり(河南)	平成26年7月13日	杉原千畝パネル展(雄勝)	平成26年7月14日～8月2日	第2回おがつの芸祭鼓舞(雄勝)	平成26年8月23日	篠笛教室(雄勝)	平成26年8月31日～11月9日	雄勝法印神楽モスク公演(雄勝)	平成26年10月2日	第20回石巻芸術文化祭(舞台公演)	平成26年10月11日～13日	第7回石巻市合同文化祭(舞台公演)	平成26年10月11日～13日	第18回みやぎ県民文化祭(於気仙沼市)	平成26年10月25日～26日	かほく文化祭「芸能音楽祭」(河北)	平成26年10月26日	かほく文化祭「作品展」(河北)	平成26年10月31日～11月3日	第20回石巻芸術文化祭(展示)	平成26年11月1日～3日	桃生地区文化祭・菊花展(桃生)	平成26年11月1日～2日	かほく文化祭「レッツダンス大会」(河北)	平成26年11月2日	かなんまつり(河南)	平成26年11月2日	かほく文化祭「神楽大会」(河北)	平成26年11月3日	かほく寄席(河北)	平成26年11月22日	第35回宮城県運営研修会(石巻地区担当)	平成26年12月4日～5日	石巻市東日本大震災追悼式典	平成27年3月11日	東日本大震災追悼公演フォーレ・レクイエム	平成27年3月30日
事業名	開催期間																																																					
春の山野草展(北上)	平成26年5月5日～6日																																																					
ふるさと復興支援演芸会(北上)	平成26年5月27日																																																					
さつき盆栽展示会(桃生)	平成26年6月14日～15日																																																					
桃生地区芸能祭(桃生)	平成26年6月15日																																																					
かなん文化まつり(河南)	平成26年7月13日																																																					
杉原千畝パネル展(雄勝)	平成26年7月14日～8月2日																																																					
第2回おがつの芸祭鼓舞(雄勝)	平成26年8月23日																																																					
篠笛教室(雄勝)	平成26年8月31日～11月9日																																																					
雄勝法印神楽モスク公演(雄勝)	平成26年10月2日																																																					
第20回石巻芸術文化祭(舞台公演)	平成26年10月11日～13日																																																					
第7回石巻市合同文化祭(舞台公演)	平成26年10月11日～13日																																																					
第18回みやぎ県民文化祭(於気仙沼市)	平成26年10月25日～26日																																																					
かほく文化祭「芸能音楽祭」(河北)	平成26年10月26日																																																					
かほく文化祭「作品展」(河北)	平成26年10月31日～11月3日																																																					
第20回石巻芸術文化祭(展示)	平成26年11月1日～3日																																																					
桃生地区文化祭・菊花展(桃生)	平成26年11月1日～2日																																																					
かほく文化祭「レッツダンス大会」(河北)	平成26年11月2日																																																					
かなんまつり(河南)	平成26年11月2日																																																					
かほく文化祭「神楽大会」(河北)	平成26年11月3日																																																					
かほく寄席(河北)	平成26年11月22日																																																					
第35回宮城県運営研修会(石巻地区担当)	平成26年12月4日～5日																																																					
石巻市東日本大震災追悼式典	平成27年3月11日																																																					
東日本大震災追悼公演フォーレ・レクイエム	平成27年3月30日																																																					
成 果	文化協会及び文化団体の事業を支援することにより、芸術文化の振興と地域に根ざした伝統文化の保存継承が図られた。																																																					
成果に係る評価	震災から4年がたち少しずつ回復傾向にあるが、依然として打撃から立ち直れないでいる団体もある。地域に根ざした活動を続けていくためにも、石巻市文化協会に対しては継続して支援していく必要がある。																																																					
(単位:円)																																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																
	1,645,000	1,645,000				1,645,000																																																

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	復興計画	心ゆたかな誇れるまち
	6 項	社会教育費		第 3 節		地域に対する愛着や誇りをはぐくむ
	1 目	社会教育総務費		( 1 )		多様な文化芸術活動の広がりや交流を推進する
実施計画掲載ページ		P90	中 事 業	芸術文化振興費		
事業コード		005-003-001-271	事 業 名	市美術展実施事業		
<p>美術をとおして、石巻市における芸術文化の向上と市民の教養を高めるため、県内外から公募する美術展を開催する。</p>						
取組実績	<p>1 石巻市美術展再開に向けて 平成25年度に、震災により流失した市美術展開催用具類を新調、石巻市美術展プレ・リオープン展を開催した。</p>					
	<p>2 第30回石巻市美術展(復活記念展)の開催 平成25年度の石巻市美術展プレ・リオープン展(審査員・招待作家・実行委員・無鑑査作家等による役員展)を受け、第30回石巻市美術展(復活記念展)として公募展を再開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催期間 平成26年10月5日～13日</li> <li>・開催場所 河北総合センタービッグバン</li> <li>・出品点数 262点 (一般148 高校生52 無鑑査26 招待4 実行委員29 審査員3)</li> <li>・観覧者数 1,148人</li> <li>・受賞者 56名</li> <li>・授賞式 平成26年10月5日</li> </ul>					
成 果	石巻市美術展を開催することにより、芸術文化の向上と市民の教養を高め文化振興が図られた。また、市美展の再開により、出品点数・観覧者数とともに、ほぼ震災前の水準に達することができた。					
成果に係る評価	平成17年の合併を機にこれまでの実行委員会主催を改め、石巻市・石巻市教育委員会・公益財団法人石巻市芸術文化振興財団(旧文化スポーツ振興公社)の主催とし、実行委員会を主管とする体制で実施していた。しかし、文化センターの被災により実施場所を変更し、当面は河北総合センタービッグバンを会場に平成26年度から公募展を再開している。					
(単位:円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	360,000	360,000				360,000

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																																					
	6 項	社会教育費		第2節	地域全体で子どもたちを育成する		( )																																					
	1 目	社会教育総務費		(1)	地域・家庭の教育力を強化する		( )																																					
実施計画掲載ページ		P27	中 事 業	家庭教育学級開設費																																								
事業コード		002-002-001-00278	事 業 名	家庭教育学級開設事業																																								
目的及び事業内容		<p>(目的) 保護者等を対象に家庭や親のあり方、子育て、子どもの心身の成長、家庭環境等に関する学習機会を提供し、家庭における教育力の向上を図るとともに、参加者相互の交流を通して連帯意識の高揚を図る。</p> <p>(事業内容) 実施機関(幼稚園、保育所・学校単位)ごとに開催 中学校は1回以上、他の実施機関は複数回の開催とする。講話、講演、討議、実技など多様な学習方法により、親のあり方や発達段階に応じて正しい指導ができるようにするなどの学習内容とするとともに、受講生の学習ニーズに配慮し開設する。</p>																																										
取組実績		<p>家庭における教育力の向上を図るため、共通の目的を持つ保護者が集まり、仲間づくりをしながら、相互に理解と信頼を深め、家庭や親が果たす役割等の再認識を図ることができるよう家庭教育学級を開設した。</p> <p>1 開設機関 各地区(石巻、河北、雄勝、河南、桃生、北上、牡鹿)の公民館等 2 実施機関 各地区の幼稚園(私立も含む)、保育所、小学校、中学校 3 開設状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>開設学級数</th> <th>開設回数</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻地区</td> <td>33 学級</td> <td>69 回</td> <td>4,855 人</td> </tr> <tr> <td>河北地区</td> <td>8 学級</td> <td>17 回</td> <td>986 人</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区</td> <td>4 学級</td> <td>7 回</td> <td>272 人</td> </tr> <tr> <td>河南地区</td> <td>16 学級</td> <td>30 回</td> <td>2,013 人</td> </tr> <tr> <td>桃生地区</td> <td>6 学級</td> <td>16 回</td> <td>1,043 人</td> </tr> <tr> <td>北上地区</td> <td>4 学級</td> <td>5 回</td> <td>219 人</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区</td> <td>4 学級</td> <td>7 回</td> <td>243 人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>75 学級</td> <td>151 回</td> <td>9,631 人</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	開設学級数	開設回数	参加者	石巻地区	33 学級	69 回	4,855 人	河北地区	8 学級	17 回	986 人	雄勝地区	4 学級	7 回	272 人	河南地区	16 学級	30 回	2,013 人	桃生地区	6 学級	16 回	1,043 人	北上地区	4 学級	5 回	219 人	牡鹿地区	4 学級	7 回	243 人	計	75 学級	151 回	9,631 人
区 分	開設学級数	開設回数	参加者																																									
石巻地区	33 学級	69 回	4,855 人																																									
河北地区	8 学級	17 回	986 人																																									
雄勝地区	4 学級	7 回	272 人																																									
河南地区	16 学級	30 回	2,013 人																																									
桃生地区	6 学級	16 回	1,043 人																																									
北上地区	4 学級	5 回	219 人																																									
牡鹿地区	4 学級	7 回	243 人																																									
計	75 学級	151 回	9,631 人																																									
成 果		<p>受講生の学習ニーズに配慮した学習課題の設定と多様な学習方法により、家庭や親が果たす役割、子どもの発達段階に応じた子育て等の理解が深まり、家庭における教育力の向上が図られた。</p> <p>なお、東日本大震災により家庭教育学級の開設に支障をきたしている実施機関があるため、より一層支援をしていく必要がある。</p>																																										
成果に係る評価		<p>人間形成の基本を培う場である家庭が核家族化、少子化、地域連帯の希薄化などの社会の変化に伴い、家庭のもつ教育機能に変化が生じ、子どもたちの問題行動の要因となっているなど、改めて家庭教育の重要性が指摘されている。子どもの健やかな成長を図るためには、地域・学校・家庭が、それぞれの教育機能を発揮し、相互補完することが大切である。今後も、家庭教育学級の開設により、地域・学校・家庭の連携強化を図るとともに、家庭教育の重要性を理解するよう、学習機会の提供や情報提供等の一層の充実を図っていく。</p>																																										
(単位:円)																																												
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																							
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																				
	750,000		750,000		750,000																																							

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	6 項	社会教育費		第1節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )	
	1 目	社会教育総務費		(2)	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )	
実施計画掲載ページ		P21	中 事 業	子ども読書活動推進費				
事業コード		002-001-002-00259	事 業 名	ブックスタート事業				
目的及び事業内容		<p>乳幼児期からの家庭における読書活動の推進方策の一環として、乳幼児期に絵本との出会いの機会を創出し、さらには絵本の選び方や読み聞かせの方法について保護者へ啓発を行う。</p>						
取組実績		<p>健康推進課で行っている3~4か月児健診の場において、乳児と保護者に対し、公募によるボランティアの読み聞かせを行いながら、ブックスタートパックを配付した。</p> <p>3~4か月児健診 対象者数 974人 " 受診者数 966人 ブックスタートパック配付者数 966人 ブックスタートパック配付率(対対象者) 99.1% ブックスタートパック配付率(対受診者) 100.0% 読み聞かせボランティア会員数 14人 読み聞かせボランティア延べ参加者数 170人</p>						
成 果		<p>読み聞かせボランティアが乳児に絵本を見せ読み聞かせすると、絵本を目で追い反応を示す。乳児の絵本との出会いに、保護者は一様に驚きの表情を浮かべ目を輝かせる。</p> <p>この絵本との出会いが、乳幼児期から発達段階に応じて習慣的に読み聞かせを行い、本や物語の楽しさや喜びを共有し読書活動を推進した。</p> <p>併せて読み聞かせ方法の指導などにより保護者への読み聞かせの啓発を行うことができた。</p>						
成果に係る評価		<p>ブックスタート事業も6年目に入り、この事業を経験するのが第2子、第3子となる親子も増えてきた。それに伴い、ブックスタート事業も広く市民に知られるようになってきている。今後は、ブックスタートパックを手渡す際に絵本の読み聞かせを行うボランティアの確保とスキルアップを図っていく。</p>						
(単位:円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	2,286,000		2,162,392		93,232			2,065,800

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )																																														
	6 項	社会教育費		第2節	地域全体で子どもたちを育成する		( )																																														
	1 目	社会教育総務費		(1)	地域・家庭の教育力を強化する		( )																																														
実施計画掲載ページ	P27		中 事 業	協働教育推進事業費																																																	
事業コード	002-002-001-00260		事 業 名	コロボススクール推進委託事業																																																	
目的及び事業内容	<p>学校・家庭・地域が協働して、子どもたちの生きる力を育む教育活動の充実・改善を目指し、社会の中でたくましく生きる子どもを地域全体で育む。</p>																																																				
取組実績	<p>1 協働教育支援会議開催（全2回） 6月30日 14人出席 2月 5日 18人出席</p> <p>2 コロボススクール推進事業（市内小学校区2 中学校区1推進協議会へ委託） (1) 釜小学校区コロボススクール推進事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>回数</th> <th>参加延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①授業の補助</td> <td>19回</td> <td>79人</td> </tr> <tr> <td>②環境整備</td> <td>7回</td> <td>119人</td> </tr> <tr> <td>③登下校・安全指導</td> <td>0回</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>④学校行事</td> <td>2回</td> <td>260人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 大原小学校区コロボススクール推進事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>回数</th> <th>参加延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①授業の補助</td> <td>30回</td> <td>157人</td> </tr> <tr> <td>②環境整備</td> <td>0回</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>③登下校・安全指導</td> <td>0回</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>④学校行事</td> <td>1回</td> <td>21人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 桃生中学校区コロボススクール推進事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>回数</th> <th>参加延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①授業の補助</td> <td>15回</td> <td>275人</td> </tr> <tr> <td>②環境整備</td> <td>0回</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>③登下校・安全指導</td> <td>0回</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>④学校行事</td> <td>4回</td> <td>24人</td> </tr> </tbody> </table>								活動内容	回数	参加延人数	①授業の補助	19回	79人	②環境整備	7回	119人	③登下校・安全指導	0回	0人	④学校行事	2回	260人	活動内容	回数	参加延人数	①授業の補助	30回	157人	②環境整備	0回	0人	③登下校・安全指導	0回	0人	④学校行事	1回	21人	活動内容	回数	参加延人数	①授業の補助	15回	275人	②環境整備	0回	0人	③登下校・安全指導	0回	0人	④学校行事	4回	24人
	活動内容	回数	参加延人数																																																		
	①授業の補助	19回	79人																																																		
	②環境整備	7回	119人																																																		
	③登下校・安全指導	0回	0人																																																		
	④学校行事	2回	260人																																																		
活動内容	回数	参加延人数																																																			
①授業の補助	30回	157人																																																			
②環境整備	0回	0人																																																			
③登下校・安全指導	0回	0人																																																			
④学校行事	1回	21人																																																			
活動内容	回数	参加延人数																																																			
①授業の補助	15回	275人																																																			
②環境整備	0回	0人																																																			
③登下校・安全指導	0回	0人																																																			
④学校行事	4回	24人																																																			
成 果	<p>2小学校・1中学校の学区とも被災した地域であったり、仮設住宅が建っている地域であるが、学校・家庭・地域の協働の取組みにより事業を推進した。その結果、地域後継者の育成・郷土芸能の伝承・小中協力してのPTA行事運営と各校それぞれが取り組む協働活動の深化に繋がった。協働活動に取り組むことで児童生徒の「ふるさとを大切にす意識」が向上し「人と人との繋がりの大切さ」を実感させることができた。</p>																																																				
成果に係る評価	<p>震災により被害が甚大だった沿岸部、早い時期に復旧ができた内陸部、人の出入りが激しい市内。全ての地区が同じフォーマットで協働教育を行うことが困難な現状を打開すべく、防災、郷土芸能、地場産業への後継者育成など、複数のモデル地区をつくり協働教育の模案に取り組んだ。家庭と地域と学校を相互につなぐ役割を担う学校支援地域コーディネーターの育成が現在最大の課題である。コロボススクール校にはその役割を担える人材探しも依頼し、協力者を募った。今後はこの人材を地域の協働教育の要として育成し、地域の教育力の向上と活性化を図る必要がある。地域人材と外部ボランティア双方の力と特色を生かし、地域活性化につなげていきたい。</p>																																																				
(単位：円)																																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																															
	400,000	300,000	300,000																																																		

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第2章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )	
	6 項	社会教育費		第3節	新たな時代を創造する人材を育成する		( )	
	1 目	社会教育総務費		(2)	創造力を育てる多様な環境をつくる		( )	
実施計画掲載ページ	P32		中 事 業	協働教育推進事業費				
事業コード	002-003-002-00262		事 業 名	ふるさと子どもカレッジ事業				
目的及び事業内容	<p>石巻の自然・文化等の素材を資源として経済的視点で体験し、地域の自然や伝統文化などの学習機会を創出する。</p>							
取組実績	<p>ふるさと子どもカレッジ事業</p> <p>第1回（開校式・グラウンドゴルフ体験）参加者 小学校5・6年生29人 （石巻地区23人、河南地区6人）</p> <p>第2回（スタンブ作り・梱包工場見学体験）参加者 小学校5・6年生27人 （石巻地区24人、河南地区3人）</p> <p>第3回（石巻青果花き地方卸売市場・航空自衛隊松島基地見学）参加者 小学校5・6年生30人 （石巻地区24人、河南地区6人）</p> <p>第4回（北上川川遊び体験・いかだで川下り体験）参加者 小学校5・6年生20人 （石巻地区19人、河南地区1人）</p> <p>第5回（合宿体験・自然観察やアクト'アッキング'体験） 台風の接近により中止</p> <p>第6回（ウォークラリー体験）参加者 小学校5・6年生14人 （石巻地区14人）</p> <p>第7回（硯石でクラフト体験）参加者 小学校5・6年生19人 （石巻地区19人）</p> <p>第8回（石巻専修大学出前講座）参加者 小学校5・6年生23人 （石巻地区19人、河南地区4人）</p> <p style="text-align: right;">延べ参加者数 162人</p>							
	成 果	<p>各地域の教育力を活用し郷土の自然や文化などを体験的に学ばせることにより、ふるさとのよさを味わわせるとともに、豊かな心を育むことができた。</p>						
成果に係る評価	<p>学校の枠を超えて児童同士が交流するきっかけになるとともに、郷土の自然・文化の良さを改めて知る機会となった。 また、地域人材を活用し、子どもの体験活動を生かしながら豊かな情操の育成を図ることができた。 訪問地を市内各地域に設定したことにより、子どもたちが石巻全域に目を向けるきっかけになった。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	142,000	42,208	42,208					

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	( )																																														
	6 項	社会教育費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		( )																																														
	1 目	社会教育総務費		( 2 )	創造力を育てる多様な環境をつくる		( )																																														
実施計画掲載ページ		P 32	中 事 業	まちなか実験室事業費																																																	
事業コード		002-003-002-00264	事 業 名	まちなか実験室事業																																																	
目的及び事業内容		小学生を対象に科学実験や自然観察、模擬発明、工作等の参加型学習講座を実施し、学ぶ楽しさ、知る喜びを実感させ、科学に対する興味・関心を高めることにより、創造性と思いやりのある心豊かな子供たちを育成することを目的とする。																																																			
取組実績		<p>講師、指導者となる団体又は企業への委託事業とし、本庁・総合支所単位でそれぞれ実験室を開催した。</p> <p>1 まちなか実験室実施内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催場所</th> <th>開催日</th> <th>内 容</th> <th>参加人数</th> <th>満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻地区</td> <td>10月26日</td> <td>カヌーに乗って自然観察</td> <td>25人</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>河北地区</td> <td>12月9日、1月26日</td> <td>電気のひみつ発見！！</td> <td>33人</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区</td> <td>12月18日</td> <td>熱気球と空気鉄砲の作り方</td> <td>8人</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>河南地区</td> <td>11月22日</td> <td>もしも原子が見えたなら</td> <td>17人</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>桃生地区</td> <td>12月13日</td> <td>おもりのはたらき</td> <td>29人</td> <td>93.3%</td> </tr> <tr> <td>北上地区</td> <td>12月5日、12月16日</td> <td>水溶液の性質、水のゆくえ</td> <td>45人</td> <td>94.7%</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区</td> <td>1月29日</td> <td>ホウ酸の溶け方、電気を作る実験</td> <td>16人</td> <td>85.7%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>173人</td> <td>96.2%</td> </tr> </tbody> </table>							開催場所	開催日	内 容	参加人数	満足度	石巻地区	10月26日	カヌーに乗って自然観察	25人	100%	河北地区	12月9日、1月26日	電気のひみつ発見！！	33人	100%	雄勝地区	12月18日	熱気球と空気鉄砲の作り方	8人	100%	河南地区	11月22日	もしも原子が見えたなら	17人	100%	桃生地区	12月13日	おもりのはたらき	29人	93.3%	北上地区	12月5日、12月16日	水溶液の性質、水のゆくえ	45人	94.7%	牡鹿地区	1月29日	ホウ酸の溶け方、電気を作る実験	16人	85.7%	合計			173人	96.2%
開催場所	開催日	内 容	参加人数	満足度																																																	
石巻地区	10月26日	カヌーに乗って自然観察	25人	100%																																																	
河北地区	12月9日、1月26日	電気のひみつ発見！！	33人	100%																																																	
雄勝地区	12月18日	熱気球と空気鉄砲の作り方	8人	100%																																																	
河南地区	11月22日	もしも原子が見えたなら	17人	100%																																																	
桃生地区	12月13日	おもりのはたらき	29人	93.3%																																																	
北上地区	12月5日、12月16日	水溶液の性質、水のゆくえ	45人	94.7%																																																	
牡鹿地区	1月29日	ホウ酸の溶け方、電気を作る実験	16人	85.7%																																																	
合計			173人	96.2%																																																	
成 果		身近な疑問から仮説を立て、実験の目的・方法を定め検証し、結果を考察して次の仮説へ向かう。解き明かす一連の行為により、解き明かす自主性と創造する心を育み、子どもの科学に対する興味関心を高めることができた。																																																			
成果に係る評価		受講した多くの子どもたちが、興味を持って科学の実験や自然観察に取り組んでいた。子どもたちの科学に対する関心の高さを知ることが出来た。今後も多くの子どもたちに、科学実験等の体験の機会を提供するため、企画や運営について検討していく必要がある。																																																			
(単位：円)																																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																															
	560,058	406,414				406,414																																															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	( )																																												
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する		( )																																												
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	地域・家庭の教育力を強化する		( )																																												
実施計画掲載ページ		P 28	中 事 業	放課後子ども教室推進事業費																																															
事業コード		002-002-001-00617	事 業 名	放課後子ども教室推進事業																																															
目的及び事業内容		市内小学校区において、公共施設を活用し、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものである。																																																	
取組実績		<p>1 放課後子ども教室推進事業「和小っ子クラブ」（和瀬小学校区へ委託）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録児童数 40名</li> <li>・登録ボランティア数 35名</li> </ul> <p>2 放課後子ども教室開設に向けての取組</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>場 所</th> <th>参加ボランティア延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①石巻市放課後子ども教室推進事業保護者説明会</td> <td>和瀬小学校</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>②和小っ子クラブ運営会議①</td> <td>和瀬コミュニティセンター</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>③和小っ子クラブ運営会議②</td> <td>和瀬コミュニティセンター</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>④和小っ子クラブ運営会議③</td> <td>和瀬コミュニティセンター</td> <td>30人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 放課後子ども教室の活動実績 年間36日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>日数</th> <th>参加児童延べ人数</th> <th>参加ボランティア延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①学習活動（宿題・自由学習・紙工作など）</td> <td>8日</td> <td>218人</td> <td>73人</td> </tr> <tr> <td>②体験活動（漁業体験・農業体験・調理など）</td> <td>14日</td> <td>392人</td> <td>136人</td> </tr> <tr> <td>③スポーツ活動（ビニールバレーボール、ゲートボールなど）</td> <td>4日</td> <td>102人</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>④その他の学習活動（読み聞かせ・紙芝居など）</td> <td>5日</td> <td>131人</td> <td>44人</td> </tr> <tr> <td>⑤遊びの活動（風揚げ・昔の遊びなど）</td> <td>5日</td> <td>130人</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>973人</td> <td>325人</td> </tr> </tbody> </table>							活動内容	場 所	参加ボランティア延人数	①石巻市放課後子ども教室推進事業保護者説明会	和瀬小学校	40人	②和小っ子クラブ運営会議①	和瀬コミュニティセンター	30人	③和小っ子クラブ運営会議②	和瀬コミュニティセンター	35人	④和小っ子クラブ運営会議③	和瀬コミュニティセンター	30人	活動内容	日数	参加児童延べ人数	参加ボランティア延人数	①学習活動（宿題・自由学習・紙工作など）	8日	218人	73人	②体験活動（漁業体験・農業体験・調理など）	14日	392人	136人	③スポーツ活動（ビニールバレーボール、ゲートボールなど）	4日	102人	32人	④その他の学習活動（読み聞かせ・紙芝居など）	5日	131人	44人	⑤遊びの活動（風揚げ・昔の遊びなど）	5日	130人	40人	計		973人	325人
活動内容	場 所	参加ボランティア延人数																																																	
①石巻市放課後子ども教室推進事業保護者説明会	和瀬小学校	40人																																																	
②和小っ子クラブ運営会議①	和瀬コミュニティセンター	30人																																																	
③和小っ子クラブ運営会議②	和瀬コミュニティセンター	35人																																																	
④和小っ子クラブ運営会議③	和瀬コミュニティセンター	30人																																																	
活動内容	日数	参加児童延べ人数	参加ボランティア延人数																																																
①学習活動（宿題・自由学習・紙工作など）	8日	218人	73人																																																
②体験活動（漁業体験・農業体験・調理など）	14日	392人	136人																																																
③スポーツ活動（ビニールバレーボール、ゲートボールなど）	4日	102人	32人																																																
④その他の学習活動（読み聞かせ・紙芝居など）	5日	131人	44人																																																
⑤遊びの活動（風揚げ・昔の遊びなど）	5日	130人	40人																																																
計		973人	325人																																																
成 果		地域の中で、子どもたちに様々な体験・交流・学習活動の機会を提供することにより、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を育むことができた。また、地域の子どもたちと大人の積極的な参画・交流によって地域コミュニティの充実に寄与することができた。																																																	
成果に係る評価		地域の人々の参画を得て、放課後を活用した学習活動や体験活動、異世代交流などを行いながら、子どもたちが安心して過ごせる居場所を確保することができた。地域の人々に見守られながら体験活動をやり遂げることで学習意欲が向上するとともに、異年齢交流をとおして思いやりの気持ちが育つなど、子どもたちの姿に変容が見られる。 また、地域の人々も、子どもたちの教育に協力を惜みず、子どもたちと共に放課後子ども教室に参画することに生きがいを見出しており、地域教育力の向上にも役立っている。 今後は、持続的な運営の仕方やボランティアの研修などによる指導力や意識の向上などを図りながら継続する必要がある。																																																	
(単位：円)																																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																													
	1,340,000	1,086,041	1,086,041																																																



予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心豊かな誇れるまち	復興計画	( )																					
	6 項	社会教育費		第 4 節	市民が個性を生かして輝ける機会をつくる		( )																					
	4 目	図書館費		( 1 )	市民の主体的な学習活動を支援する		( )																					
実施計画掲載ページ		P 91	中 事 業		図書館活動費																							
事業コード		005-004-001-00276	事 業 名		読書環境整備事業																							
目的及び事業内容 図書館法第3条に基づき、必要な資料を収集し市民の利用に供する。公立図書館は「図書、記録その他必要な資料・情報を収集、整理、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するとともに、市民の教育と文化の発展に寄与する」ことを目的としている。これらを踏まえ、市民の要望に応えるため、魅力ある図書資料や情報の収集・提供に努め、図書館サービスを推進する。																												
取 組 実 績 1 新刊書を中心とした図書資料の購入・貸出 (1) 新刊書を中心に、図書館で選定した図書及び、市民からのリクエストに基づいた図書資料を購入し、市民に提供した。 (2) 新着図書コーナーに、新着図書を配置し、見やすく、分かりやすいように工夫し、新着図書等を紹介し、利用促進を図った。 2 レファレンス等による関連図書資料の貸出 受付カウンターでのレファレンス（調査・相談）業務に基づき、テーマに関連した図書資料を含めて紹介するとともに、貸出を行った。 3 子ども読書活動の一環とした事業 本館において、「あかちゃんおはなし会」、「たのしいおはなし会」を毎月2回実施、河北・桃生分館では、「おはなし会」を毎月1回開催し、好評を得ている。各事業ともボランティアとの協働により行っており、ボランティア活動の場も提供している。 また、発達段階に応じ、「あかちゃん」、「3・4歳児」、「読み聞かせ」等に分類した絵本を配置し、絵本の選本を容易にし、利用しやすい環境作りを行った。 4 子育て支援事業 「石巻市子育て支援センター」をはじめとする各施設において、読み聞かせ、手遊び、わらべうた等を通じて、図書に親しみ「心豊かで健やかな成長」を願い、活動を実施した。																												
成 果 ・ H21年度には354,232冊を数えた貸出冊数は、震災の影響によりH23年度には160,474冊まで激減したが、H24年度272,813冊、H25年度293,750冊、H26年度は288,942冊と回復しつつある。 ・ 図書の購入については、新刊、話題の図書をを中心に購入するとともに、郷土資料の収集に努め、市民からのリクエスト図書は購入や他館からの借受けで対応した。 ・ 東日本大震災に関する郷土資料を積極的に収集し、市民へ提供するとともに、後世へ「知の遺産」として保存すべく整備を行った。 ・ レファレンスサービスの充実・高度化を図り、市民の利便性向上を行った。 ・ 移動図書館車で52か所の仮設住宅団地等を2週間に一度巡回し、図書館サービスを実施し、被災した市民の心を癒すことができた。																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書購入冊数</td> <td>5,845冊</td> <td>5,996冊</td> <td>5,930冊</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数 (うち移動図書館車)</td> <td>272,813冊 (15,559冊)</td> <td>293,750冊 (17,917冊)</td> <td>288,942冊 (19,311冊)</td> </tr> <tr> <td>リクエスト処理件数</td> <td>4,684件</td> <td>8,020件</td> <td>9,810件</td> </tr> <tr> <td>調査相談サービス</td> <td>1,558件</td> <td>1,380件</td> <td>1,252件</td> </tr> </tbody> </table>									主な指標項目	H24	H25	H26	図書購入冊数	5,845冊	5,996冊	5,930冊	貸出冊数 (うち移動図書館車)	272,813冊 (15,559冊)	293,750冊 (17,917冊)	288,942冊 (19,311冊)	リクエスト処理件数	4,684件	8,020件	9,810件	調査相談サービス	1,558件	1,380件	1,252件
主な指標項目	H24	H25	H26																									
図書購入冊数	5,845冊	5,996冊	5,930冊																									
貸出冊数 (うち移動図書館車)	272,813冊 (15,559冊)	293,750冊 (17,917冊)	288,942冊 (19,311冊)																									
リクエスト処理件数	4,684件	8,020件	9,810件																									
調査相談サービス	1,558件	1,380件	1,252件																									
成果に係る評価 ・ H26年度の貸出冊数については、前年度を下回るものとなったが、確実に復興の兆しが見えてきたことを考えると、今後は貸出冊数も震災以前よりも増加していくものと考えている。 ・ 震災復興という状況のなかで、情報提供としての本の貸出しはもとより、調査相談サービスに努め、市民のニーズに応えることができた。 ・ 図書購入費については、人口1人当たりの図書購入費が、県平均を大きく下回っている状況にあることから、引き続き図書購入費の有効活用を努め、拡大させていく必要がある。																												
(単位：円)																												
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																							
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
		10,000,000	10,000,000					10,000,000																				

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	( )	
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ		( )	
	10 目	河北総合センター費		( 1 )	多様な文化芸術活動の広がりや交流を推進する		( )	
実施計画掲載ページ		P 91	中 事 業		河北総合センター管理費			
事業コード		005-003-001-00607	事 業 名		河北総合センター施設改修事業〔地域の元気臨時交付金〕			
目的及び事業内容 開設以来、20年を迎える施設の経年劣化による設備不良箇所を、年次計画により、順次、改修を行い、利用者に安心・安全で快適な施設の提供を図る。								
取 組 実 績 平成24年度 河北総合センター音響設備更新事業 平成25年度 河北総合センター直流電源装置蓄電池交換修繕事業 平成26年度 河北総合センター施設改修事業（中央監視装置及び冷温水発生機修繕）28,620千円 このほか、エレベーター修繕962千円、非常用ディーゼル発電機電池触媒栓修繕157千円、ランニングマシン修繕193千円を行った。								
成 果 経年劣化した装置・機器類の修繕により、利用者の利便性が図られた。								
成果に係る評価 開館から20年、施設の心臓部ともいべき中央監視装置及び冷暖房設備が改修されたことにより、安心・安全で快適な施設の提供ができ、利用者の利便性が図られた。								
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
		29,930,256	29,930,256				28,620,000	1,310,256

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章		復興計画	( )														
	6 項	社会教育費		第 節			( )														
	11 目	遊楽館費		( )			( )														
実施計画掲載ページ			中 事 業	遊楽館管理費																	
事業コード			事 業 名	遊楽館管理運営事業																	
目的及び事業内容		市民の交流及び文化・体育の振興と健康増進を図り、もって公共の福祉の向上に資する。																			
取 組 実 績	1 年間利用者数の状況 ・遊楽館																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホール（楽屋・リハーサル室含む）</td> <td>27,626人</td> </tr> <tr> <td>アリーナ</td> <td>24,710人</td> </tr> <tr> <td>トレーニング室</td> <td>5,591人</td> </tr> <tr> <td>会議室・和室</td> <td>26,120人</td> </tr> <tr> <td>その他（調理室・多目的室・視聴覚室）</td> <td>7,441人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>91,488人</td> </tr> </tbody> </table>								区 分	利用者数	ホール（楽屋・リハーサル室含む）	27,626人	アリーナ	24,710人	トレーニング室	5,591人	会議室・和室	26,120人	その他（調理室・多目的室・視聴覚室）	7,441人	計
区 分	利用者数																				
ホール（楽屋・リハーサル室含む）	27,626人																				
アリーナ	24,710人																				
トレーニング室	5,591人																				
会議室・和室	26,120人																				
その他（調理室・多目的室・視聴覚室）	7,441人																				
計	91,488人																				
・河南室内プール 利用者数：28,176人 会員数：3,983人																					
2 指定管理者による管理運営 ・遊楽館																					
①指定管理者 公益財団法人石巻市芸術文化振興財団 ②指定管理料 103,800,000円 ③指定期間 平成26年4月1日から平成31年3月31日まで																					
・河南室内プール ①指定管理者 石巻市体育協会・ミズノグループ ②指定管理料 16,373,000円（平成26年度） ③指定期間 平成24年4月1日から平成29年3月31日まで																					
成 果	平成26年度より指定管理による運営がなされており、遊楽館全体の来館者数及び利用者数も徐々に震災前に戻りつつあり、利用者からも喜ばれている。また、室内プールについても、平成24年度から新しい指定管理者により運営され、スクール事業の実施など自主事業にも力を入れ、利用者の健康増進が図られ、利用も徐々に増えてきている。																				
成果に係る評価	震災後、利用者も徐々に増えてきており、様々な活動や交流機会を提供できた。																				
（単位：円）																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源															
	160,145,000	158,523,295				158,523,295															

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	( )												
	6 項	社会教育費		第 4 節	市民が個性を活かして輝ける機会をつくる		( )												
	11 目	遊楽館費		( 2 )	市民の主体的なスポーツ活動を支援する		( )												
実施計画掲載ページ		P92	中 事 業	かなんパークゴルフ場運営費															
事業コード		005-004-002-00281	事 業 名	かなんパークゴルフ場管理運営事業															
目的及び事業内容		市民にパークゴルフを通してスポーツの楽しさと、ふれあいの場を提供し体力向上や健康増進を図る。																	
取 組 実 績	1 指定管理者 有限会社ふれあいパーク																		
	2 指定管理料 11,895,000円（平成26年度）																		
3 指定期間 平成22年4月1日～平成27年3月31日																			
4 実施事業																			
(1) 初心者への指導、講習会（随時）																			
(2) 各種大会の開催																			
(3) 快適なゴルフ場を目指すための施設整備（芝管理、立木の維持、施設の点検維持管理）																			
5 年間利用状況																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>46,543人</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>30,843人</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>41,583人</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>32,526人</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>44,227人</td> </tr> </tbody> </table>								年度	利用人数	H22	46,543人	H23	30,843人	H24	41,583人	H25	32,526人	H26	44,227人
年度	利用人数																		
H22	46,543人																		
H23	30,843人																		
H24	41,583人																		
H25	32,526人																		
H26	44,227人																		
6 かなんパークゴルフ場整備事業 平成25年度からの繰越して駐車場の拡張と加圧ポンプの設置工事を行った																			
成 果	平成25年度の利用者数は、芝生の養生期間を設け約2ヶ月間休場とした影響もあり、前年比9,057人の減少となったが、平成26年度は順調な伸びを示し、震災前の活気を取り戻しており、パークゴルフ事業の目的であるスポーツの楽しさとふれあいの場を提供することができた。 また、駐車場の拡張で65台分を増設、合計145台分を確保し混雑緩和と利用者への利便性が図られた。																		
成果に係る評価	利用者数も順調に回復してきており、以前のようにパークゴルフに親しむ方々に、より多く来場していただける機会を提供できた。																		
（単位：円）																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源													
	42,599,000	26,169,920				26,169,920													



予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	6 項	社会教育費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる
	13 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ		P194	中 事 業		震災文化財等保護管理費		
事業コード		004-101-003-512	事 業 名		文化財再興事業		
目的及び事業内容		東日本大震災により被害を受けた地域固有の文化財保持団体へ支援を行い、地域の絆を再構築するとともに、伝統文化のさらなる発展につなげる。					
取組実績		市指定有形文化財保持団体に対し、補助金を交付した。 ・市指定文化財 天雄寺観音堂復元事業補助金 3,456,000円					
成 果		東日本大震災で被災した指定文化財保持団体の、復旧・復興のための支援が図られた。					
成果に係る評価		東日本大震災で被災した指定文化財の復旧により、貴重な文化財の保存・継承が図られた。文化財の維持管理には多額の経費を要するため、今後とも必要に応じて補助金等の支援を続ける必要がある。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	8,000,000		3,456,000				3,456,000

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	6 項	社会教育費		第 節		( 1 )	未来の人を育てる
	13 目	東日本大震災関係費		( )		( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ		P194	中 事 業		齋藤氏庭園修復整備事業費		
事業コード		004-101-003-00510	事 業 名		国指定名勝齋藤氏庭園復旧事業		
目的及び事業内容		宮城県北部連続地震及び東日本大震災により、損傷した庭園及び建物を修復し、国指定名勝として永く保存活用する。					
取組実績		齋藤氏庭園保存修理工事の実施。 前土蔵及び後土蔵の半解体工事を実施。					
成 果		庭園内の建造物について、調査・保存修理工事を行った（前土蔵及び後土蔵の半解体工事で、屋根瓦の調査・取り外し、瓦の製作、左官工事として壁の解体、柱の根継等補修木工事、養生等を行った。）					
成果に係る評価		保存修理については、文化財としての価値を十分に生かしながら、市民や観光客にも親しんでもらえるような形で、文化庁や県の指導を受けながら計画的に実施していく。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	127,814,000		104,936,101		73,455,000		31,481,101

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 章	復興計画	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる	
	6 項	社会教育費				( 1 )	未来の人を育てる	
	13 目	東日本大震災関係費				( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興	
実施計画掲載ページ		P192	中 事 業		複合文化施設整備事業費			
事業コード		004-101-002-00509	事 業 名		複合文化施設整備事業〔復興交付金〕			
目的及び事業内容		東日本大震災により被災し解体した石巻文化センターと石巻市民会館の再建に当たり、博物館機能と文化ホール機能を併せ持つ複合文化施設として建設し、石巻市の芸術文化活動の拠点整備を図る。						
取 組 実 績		石巻市複合文化施設整備基本計画（案）作成業務						
成 果		平成26年6月に基本構想を策定し、基本計画策定のため文化芸術団体の代表者等による市民懇談会及び庁内各関係課長等による調整会議を立上げ、基本計画（案）策定のため、検討を行ってきた。平成26年度中の策定を目指してきたが、震災による建設費の高騰、建設場所、財源、施設規模等について更なる検討が必要となり、事業を繰越し、平成27年度中の策定に向け引き続き市民懇談会及び調整会議で検討中。						
成果に係る評価		石巻市複合文化施設の建設に向け、石巻市複合施設整備基本計画（案）を作成予定だったが、事業繰越しとなった。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
	9,088,000		325,600					325,600

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 5 章	復興計画	( )	心ゆたかな誇れるまち																														
	7 項	保健体育費				( )	市民が個性を活かして輝ける機会をつくる																														
	1 4 目	保健体育総務費 体育館費				( 2 )	市民の主体的なスポーツ活動を支援する																														
実施計画掲載ページ		P92	中 事 業		体育奨励費・体育館管理費																																
事業コード		005-004-002-00268	事 業 名		スポーツ振興事業																																
目的及び事業内容		市民の一体感の醸成・市民の健康づくりと交流促進・生涯スポーツ社会の実現・成人のスポーツ実施率の向上・青少年の健全育成と交流促進・スポーツ少年団加入率の向上・総合型地域スポーツクラブの拠点づくりを目的とし、石巻ふれあいマラソン大会、市民スポーツフェスタ、石巻市小学生リレーマラソン大会、いしのみきキッズ交流大会、キッズバラエティスポーツ教室、体育館スポーツ教室を実施している。（以上の6事業：スポーツ振興事業）																																			
取 組 実 績		<ol style="list-style-type: none"> <li>石巻ふれあいマラソン大会（旧石巻シーサイドマラソン大会） 平成26年度開催はできなかったが、準備委員会を設立して次年度開催に向け準備を進めている。</li> <li>いしのみき市民スポーツフェスタ 気軽に参加できるスポーツを通し、市民の健康づくりと交流、地域間の連携の強化を図りながら成人のスポーツ実施率の向上を目指した。なお、平成24年度より、特定非営利活動法人石巻市体育協会への委託事業として「協働」で実施している。</li> <li>石巻市小学生リレーマラソン大会 市民の一体感を醸成する事業の一環として、市内小学校及びスポーツ少年団対抗のリレーマラソン大会を実施するもので、スポーツを通じた青少年の健全育成、子ども達の体力・運動能力の向上を目指し、平成24年度より、特定非営利活動法人石巻市体育協会への委託事業として「協働」でいしのみきキッズ交流大会と合体して実施しており、更に市民スポーツ参加の一翼を担った。</li> <li>いしのみきキッズ交流大会 市内スポーツ少年団及び小・中学校の交流により、青少年の健全育成及び地域間の連携と強化を図るため、平成24年度より、特定非営利活動法人石巻市体育協会への委託事業として「協働」で石巻市小学生リレーマラソン大会と合体して実施し、市民のスポーツ参加の一翼を担った。</li> <li>キッズバラエティスポーツ教室 スポーツをしたいが、何をしたら良いかわからないという子供たちに対して、多数のスポーツ種目への体験の場を提供するため、平成24年度より、特定非営利活動法人石巻市体育協会への委託事業として「協働」で実施しており、自分に合った種目を見つけ出し、スポーツ活動に取り組む機会を創出させ、子供たちの体力の向上に努めた。</li> <li>体育館スポーツ教室 総合体育館で一般市民を対象にバドミントン・卓球教室を特定非営利活動法人石巻市体育協会への委託事業として平成25年度より「協働」で実施。楽しみながら基本的な技術を習得し、運動する喜びを感じて心身ともに健康な体づくりを目指し、受講生相互のコミュニティが形成される。</li> </ol>																																			
成 果		<ul style="list-style-type: none"> <li>一大イベントであるマラソン大会は、平成27年度開催に向け準備委員会を設立して進めている。</li> <li>小学生リレーマラソン大会といしのみきキッズ交流大会を合同開催として実施した。</li> <li>キッズバラエティスポーツ教室は昨年度より増となる12種類のスポーツを2回ずつ行った。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>指標項目</th> <th>スポーツフェスタ</th> <th>小学リレーマラソン</th> <th>いしのみきキッズ交流</th> <th>キッズバラエティ</th> <th>体育館教室</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td rowspan="3">参加者数</td> <td>197人</td> <td></td> <td>294人</td> <td>1,421人</td> <td>152人</td> <td>2,064人</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>153人</td> <td></td> <td>245人</td> <td>1,088人</td> <td>841人</td> <td>2,327人</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>85人</td> <td></td> <td>340人</td> <td>1,078人</td> <td>1,109人</td> <td>2,612人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	指標項目	スポーツフェスタ	小学リレーマラソン	いしのみきキッズ交流	キッズバラエティ	体育館教室	計	H24	参加者数	197人		294人	1,421人	152人	2,064人	H25	153人		245人	1,088人	841人	2,327人	H26	85人		340人	1,078人	1,109人	2,612人
年度	指標項目	スポーツフェスタ	小学リレーマラソン	いしのみきキッズ交流	キッズバラエティ	体育館教室	計																														
H24	参加者数	197人		294人	1,421人	152人	2,064人																														
H25		153人		245人	1,088人	841人	2,327人																														
H26		85人		340人	1,078人	1,109人	2,612人																														
成果に係る評価		東日本大震災の影響により、主会場や走路等の検討でマラソン大会は開催できなかったが、新規種目の導入も視野に入れながら次年度開催に向けて準備委員会を設立して協議を進めている。また、体育施設の復旧状況に合わせ、工夫を凝らした形で5事業を実施することができ、参加総人数も増加している状況である。 なお、企画・運営については、特定非営利活動法人石巻市体育協会と「協働」の体制を変えず、行政主導から民間主導へと移行して実施しており、「成人のスポーツ実施率の向上」、「子どもたちの体力と運動能力の向上」を達成するために必要な要素が含まれていることから、被災地（被災者）の復興状況と照らし合わせながら、多くの市民が参加しやすい環境整備及び参加意識の向上に努めた。																																			
（単位：円）																																					
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																													
	2,133,000		2,133,000					2,133,000																													

予算科目	10 款	教育費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	( )		
	7 項	保健体育費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する		( )		
	3 目	学校給食費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ		( )		
実施計画掲載ページ	P 20		中 事 業	学校給食センター運営費、賄材料費					
事業コード	002-001-002-00243		事 業 名	学校給食センター運営事業					
目的及び事業内容	<p>児童・生徒に豊かで栄養のバランスのとれた食事を提供し、心身の健全な育成に資する。学校給食を通じて望ましい食生活学習習慣の基盤形成を促すとともに、会食をとおして豊かな人間関係を育成する。</p> <p>地場産物を使い、地域の特色を生かした学校給食を提供することにより、地域の産物や食文化を理解し、尊重する心を育てる。</p>								
実施状況	(平成27年1月1日現在)								
	区分	学校・園数	児童・生徒・園児数	給食形態	調理場方式	給食実施率			
小学校	37校	7,222人	完全給食	共同調理場方式	100%				
中学校	20校	4,121人	完全給食	共同調理場方式	100%				
幼稚園	3園	155人	完全給食	共同調理場方式	100%				
センター名	区分	小学校	中学校	幼稚園	計				
	対象校数	児童数	対象校数	生徒数	対象園数	園児数	対象校・園数	児童・生徒・園児数	
	湊学校給食センター								
	渡波学校給食センター								
	石巻西学校給食センター	6校	2,518人	3校	1,010人		9校	3,528人	
	住吉学校給食センター	8校	2,061人	4校	1,248人	1園	10人	13校	3,319人
	河北学校給食センター	10校	1,191人	7校	880人	1園	87人	18校	2,158人
	河南学校給食センター	9校	1,372人	3校	705人	1園	58人	13校	2,135人
	牡鹿学校給食センター	4校	80人	3校	278人			7校	358人
	計	37校	7,222人	20校	4,121人	3園	155人	60校(園)	11,498人
成 果	<p>1 栄養の改善及び増進が図られた。</p> <p>2 日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣を養うことができた。</p> <p>3 食育における食文化の継承として、学校給食において次の地場産物利用を図り、食事の提供のみならず、「生きた教材」として地域の産物や食文化を理解し、尊重する心を育成した。</p> <p>4 明治時代から続く近代捕鯨という伝統的地域特性を生かし、日本鯨類研究所の協力を得て、全学校に対し鯨肉を使用した給食を提供できた。</p> <p>5 給食費の未納対策に関して、教育委員会と学校が一体となり収納対策に努め、納入者の不公平感の解消及び適切な財源確保に努めた。</p>								
	年度	滞納学校数	滞納者数	滞納繰越額					
	H25	16校	92人	2,620,396円					
	H26	15校	61人	1,745,147円					
	比較増減	△ 1校	△ 31人	△ 875,249円					
成果に係る評価	<p>学校給食については、児童・生徒の心身の健全な発育、正しい食習慣の形成、健康管理のための食生活改善等の目的があり、生きた教材として地場産物を使った献立等を提供し、食育に資することも求められている。平成26年度においては、地元産の「豆腐」を使用した「豆腐ハンバーグ」を献立に取り入れたこともあり、前年度の地場産物使用割合を上回る結果となった。</p> <p>給食費の未納対策については、震災後見合わせていた督促や訪問指導等を再開し、悪質な滞納者に対しては支払い督促の申し立てを実施したことから、納付への成果に繋がっている。今後も学校と連携を密にしなが、新たな滞納者を発生させないよう、保護者に理解と協力を求める。</p> <p>震災により、湊及び渡波学校給食センターが被災し使用不能となったことから、東松島市から施設の無償譲渡を受け、石巻西学校給食センターとして使用しているが、新センター開設(平成28年4月予定)後に解体し、土地を返還することになっている。なお、新センターの開設に伴い、石巻西及び牡鹿学校給食センターは廃止し、新センターと統合することで、維持管理経費の削減を図ることができる。</p>								
	(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源			
	874,375,000	844,005,823			576,339,982	267,665,841			

予算科目	10 11 款	教育費 災害復旧費	総合計画	第 章	( 4 )	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	7 5 項	保健体育費 その他公共施設・公用施設災害復旧費		第 節	( 1 )	未来の人を育てる
	8 1 目	東日本大震災関係費 その他公用施設災害復旧費		( )	( 1 )	学校教育・社会教育施設等の復旧・復興
実施計画掲載ページ	P 190		中 事 業	学校給食センター建設事業費 学校給食センター災害復旧費		
事業コード	004-101-001-00486		事 業 名	(仮称)石巻東学校給食センター建設事業 〔復興交付金・復興基金〕		
目的及び事業内容	<p>被災した湊給食センター及び渡波給食センターを統合した上で再建し、児童生徒に栄養バランスのとれた食事を提供し、健全な発育に資する。</p> <p>また、湊地区の住民及び事業所の事業者への災害時の炊き出し拠点施設と位置付け、災害時に食料支援を行うことで、地域住民に安全で安心に生活できる住環境を提供する。</p>					
取 組 実 績	<p>平成25年度 用地購入、地質調査業務、用地造成設計業務</p> <p>・用地取得内容 大門町四丁目 A=1,025.67㎡ 明神町一丁目 A= 824.77㎡ 明神町二丁目 A=1,365.39㎡ 明神町三丁目 A= 251.70㎡ 計 A=3,467.53㎡</p> <p>平成26年度 用地購入、基本・実施設計、用地造成工事、新築工事</p> <p>・用地取得内容 湊町一丁目 A=469.50㎡ 明神町一丁目 A=121.77㎡ 計 A=591.27㎡</p> <p>平成27年度 新築工事</p>					
	成 果	<p>用地取得と基本・実施設計、用地造成工事が完了し、新築工事に着手した。</p>				
成果に係る評価	<p>平成28年4月の稼働に向け、新築工事に着手することができた。</p>					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	1,469,551,894	174,802,921	49,128,000	21,600,000	98,040,000	6,034,921